

ルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第五十六條 師團長ハ召集延期又ハ事故ニ因リ應召ヲ遲延スル者ノ最終ノ出發期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到著ヲ遲延スル者アリタルトキ之ニ歸郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第五十八條 師團長聯隊區司令官ハ召集延期ヲ許可スルニ方リ其ノ期ノ召集ニ應セシメサル者ノ指令ニハ令狀ヲ市町村長ニ返付スヘキコトヲ附記スヘシ

第五十九條 師團長ハ進級ノ爲又ハ事故ノ爲召集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ各自ニ達セシムヘシ

第六十條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ヲ召集セントスルトキハ召集ノ日時及部隊ヲ將校同相當官ニ在テハ寄留地所管ノ師團長ヨリ本籍地所管ノ

師團長ニ准士官以下ニ在テハ寄留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第六十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到著スルトキハ直ニ身體検査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記シ之ヲ召集期日後三日以内ニ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

傷痍疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ハ軍隊手牒ニ其ノ旨ヲ記シテ歸郷セシメ召集期日後三日以内ニ其ノ診斷證書常備役後備役補充兵役又ハヲ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

第一項ニ依リ名簿發送後召集ニ應シタル者アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ其ノ召集ニ應シタル者ニ就テハ前二項ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 召集部隊長ハ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到著ヲ遲延シタル者アリタルトキハ師團長ノ達ニ基キ之ニ歸郷ヲ命シ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十三條 聯隊區司令官ハ召集名簿中ニ他ノ聯隊區ノ者アリタルトキハ第六十一條

第六十二條ノ通知ニ基キ其ノ應召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名召集期日及日數ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十五條 郡市長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十六條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニシテ父母ノ疾病危篤又ハ死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲休暇ヲ願出ツル者ニ許可ヲ與フルニ方リ其ノ休暇中ニ召集解除ヲ爲スヘキ者ハ直ニ召集ヲ解除スヘシ

第六十八條 召集部隊長ハ演習又ハ教育ヲ終リタルトキハ軍隊手牒ニ所要ノ記入ヲ爲シ在ルキ否ヲ點檢シテ召集ヲ解除スヘシ

第六十九條 召集部隊長ハ令狀ニ指定スル期日ニ召集ヲ解除シ召集ヲ解除スルモ歸郷セシメサル者ヲ包含ス

アル者アルトキハ其ノ人名事由及解除期日ヲ聯隊區司令官ニ通知シ召集解除ヲ延期スル者ノ中其ノ期日ヲ豫定スルコト能ハサル者ニ在テハ召集ヲ解除シ召集解除後ノ者ヲ包含スルトキ更ニ其ノ通知ヲ爲スヘシ士官ニ任スル者ノ演習召集ヲ本籍地及寄留地ニアラサル師管ニ於テ行フ場合ニ於テハ居住地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ前項ニ該處者ノ居住地本籍地及寄留地所管ノ聯隊區ヲ包含スナラサルトキハ仍本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

寄留地ニ於テ召集ニ應シタル者ノ中期日ニ先チ召集ヲ解除スル者アルトキハ仍本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第七十條 聯隊區司令官ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七十一條 郡市長ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十二條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十三條 演習召集教育召集ニ關シテハ第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第一項及第三十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記シ市町村長ハ第二十三條第二項ニ依リ令狀ヲ交付シタル人名及其ノ召集部隊ヲ通知スルニハ召集日數ヲ附記スルモノトス

第七十四條 聯隊區司令官ハ郡市長ヨリ令狀ノ送達ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ一表ニ作り之ヲ師團長ニ差出スヘシ

第六章 補缺召集

第七十五條 師團長ハ補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ兵種等級人員召集部隊到着日時ヲ定メ召集部隊長及聯隊區司令官ニ送スヘシ  
師團長ハ其ノ所管ニテラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ  
第七十六條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀第十一様ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十七條 郡市長ハ補缺召集令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ召集ヲ命セラレタル者ノ充員召集令狀ハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ  
第七十八條 補缺召集ニ關シテハ第三十三條第二十四條第三十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第三十四條第五十六條乃至第五十八條第六十一條第六十項第三項第六十二條第六十四條乃至第六十六條及第七十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記スルモノトス

第七章 簡閱點呼

第七十九條 師團長ハ簡閱點呼執行官ニ當該聯隊區司令部書記一名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ  
第八十條 師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ  
第八十二條 師團長ハ簡閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ其ノ狀況ヲ悉シテ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第八十二條 聯隊區司令官ハ簡閱點呼開始前三十日ニ條例第七十二條ノ手續ヲ爲スヘシ

シ但シ點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半日間ニ點呼ヲ結了シ他ノ半日ハ旅行ニ充ツルヲ要ス

第八十三條 聯隊區司令官ハ第十二様式ニ依リ點呼令狀ヲ作ルヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官ニ送付スヘシ但シ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スルモ妨無シ

第八十五條 市町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ簡閱點呼期日前十五日ニ之ヲ各自ニ交付シ終ルヘシ

第八十六條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除又ハ猶豫ヲ受ケタル者アルトキハ前條令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタル者アリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十八條 市町村長ハ傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲簡閱點呼ニ參會スルコト能ハサ

ル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メテ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十九條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ携ヘ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタル届書及令狀ハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第九十條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ方リ在郷軍人名簿ヲ携帶スヘシ

第九十一條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ平常ニ於ケル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要ノ訓示ヲ與フヘシ

第九十二條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十三條第一項第二十六條第二十七條第三十四條及第七十四條ヲ準用ス

附 則

第九十三條 屯田兵下士兵卒ノ演習召集簡閱點呼ニ關シテハ第七師團長本則ニ準シ適宜其ノ方法ヲ規定シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九十四條 本則ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊則ニ依ルコトヲ得

第一様式

動第 號

何師團動員(何師團何動員)ヲ令セラル動員第一日ハ何月何日ナリ

明治 年 月 日

師團長(地方長官)(憲兵隊長)(聯隊區司令官)氏名團

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 三 電文中ニ數字ヲ記スニハ假名字ヲ用キ其ノ下ニ括弧ヲ置キ之ニ同一ノ數字ヲ記入スヘシ
- 四 電文中ニハ發簡番號及發信年月日ヲ記入セス又發信者ハ官名又ハ職名ノミヲ記シ其ノ氏名ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二様式

ダイサン(三)シダンドウインヲレイセラルドウインダイイチ(一)ニチハク(九)グツイチ(一)ニチナリ○シヅオカケンチジ

第三師團動員ヲ令セラル動員第一日ハ九月一日ナリ

本様式ハ静岡縣知事返電ノ例ヲ示ス

静岡縣知事

第三様式

動第 號 通	
受領時刻	年月日 午前 時 分
受領證	

- 一 封筒用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

陸軍召集條例施行細則

第四様式

動第 號

何師團何動員補充召集令狀何通入

一袋

(點呼令狀何通入)

右送付ス

明治 年 月 日

何 郡 長 印

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符合ヲ記入スルコトヲ得但シ動ノ字ヲ附スル充員ハ召集令狀補充召集令狀送付ノトキニ限ル
- 二 何動員ノ何々動員ノ區分ヲ示ス符合ニシテ此ノ符合ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

第五様式

受領證

一 何月何日何隊へ召集ノ (何隊へ召集ノ爲何月何日何集合場へ到着スヘキ) 充員 (補充) 召集令狀  
右受領ス

表 (尺曲) 分五寸七

明治 年 月 日 午前 時 分

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲ス  
何聯隊區司令部 御中

四寸五分(曲尺)

充員(補充)召集令狀

何府縣郡市町村  
兵役官(兵種等級)  
(第何補充兵何兵) 何 某

右充員(補充)ノ爲何部隊へ召集ヲ令セラル明治何年何月何日午 何時(午前八時ヨリ午後四時)迄ニ何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ當該部隊(集合場)召集事務所ニ届出ツヘシ但何月何日午 何時何分何驛(何港)發ノ涼車(涼船)ニ乗ルヘシ

何聯隊區司令部印

召集ニ應スル爲涼車(涼船)ニ乗ルヘキ者ハ指定ノ日時場所以外ニ於テハ(乗車)乗船ノ準備無キヲ注意スヘシ  
乘車(乗船)切符ヲ求ムルトキ及乘車(乗船)スルトキハ此ノ令狀ヲ係員ニ示スヘシ

五寸(典尺)

陸軍召集條例施行細則

- 一 用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 三 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 四 但書及欄外記註ハ一例ヲ示シタルニ過キス聯隊區司令部ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ記入スルモノトス

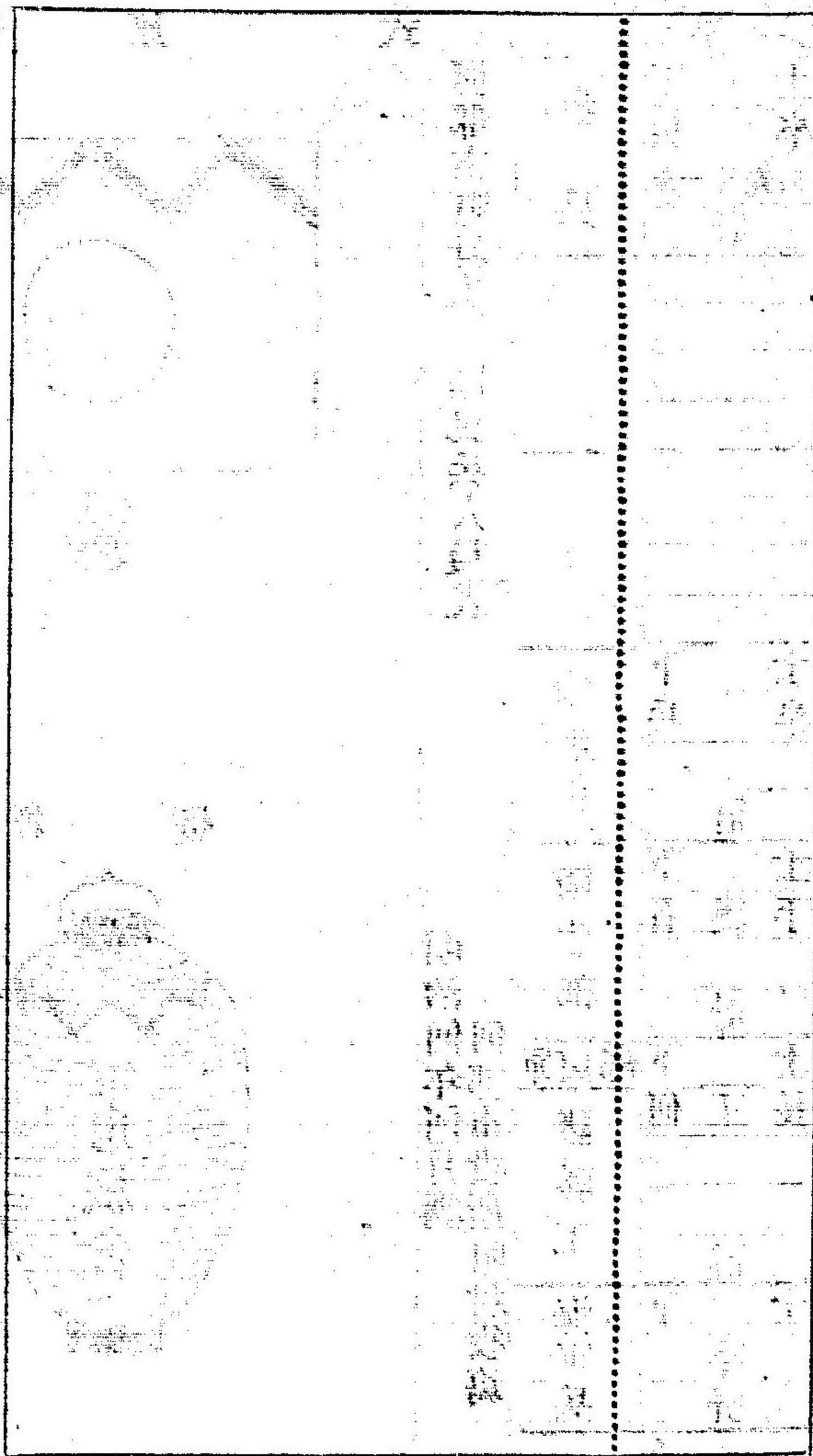
第五様式

召集旅費金何圓何拾錢

右何所ニ於テ支給ス依テ此令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到着地ヲ記入スヘシ

裏

面



- 一 色ハ適宜トス
- 二 聯隊區司令部ニ於テハ令狀裏面ニ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

陸軍召集條例施行細則





何 何 何  
歳 歳 歳

一 本表年齢ノ區畫ニハ月數ヲ記載セス各年齢ニ相當スル人員ハ翌年二月一日ヨリ翌  
翌年一月三十一日迄ニ滿年ニ達スル者ヲ記ス  
二 本表人員ニ異動ヲ生スルモ其ノ時時訂正ヲ要セス  
第九様式

何郡市町村退役將校名簿

明治何年何月調  
何郡市役所町村役場

住	所	年	齡	摘	要	官	名	氏	名
		何	歳			步、大尉	何		某
						一、軍醫			

一 本表ノ年齢ハ月數ヲ記セス調査スル月ノ年齢ヲ記ス但シ月計算ニ依ル  
二 國民軍編入許可ノ將校同相當官准士官ハ本名簿ニ記シ其ノ氏名ノ右肩ニ志ノ符號  
ヲ朱書スヘシ

第十様式

何部隊演習(教育)召集名簿

明治何年何月何日調  
何部隊區司令部

住	所	兵役年級	官兵種等級	氏	名	應	事	故	否
郡町村	豫、	二	步、大尉	何	某				
何々々	後、	二	步、軍	何	某		何月何日疾病ニ因 リ不應ヲ届出ツ		
何々々	豫、	二	步、	何	某		疾病ニ因リ應召即 日歸郷ヲ命ス		
郡町村寄留 本籍何部隊區 何郡町村	一補、三	步		何	某				

一字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

陸軍召集條例施行細則

二 寄留地ヨリ召集ニ應スル者ノ住所區畫ニハ現住所ノ下ニ「寄留」ト書シ其ノ傍ニ本籍聯隊區名及所在地ヲ朱書スヘシ

第十一様式

表  
分五寸七

受領證

一何月何日ヨリ何日間何隊へ召集ノ演習(教育)召集令狀  
右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分  
後

兵役官(兵種等級第一補充兵何兵)何某團  
召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部  
御 中

面  
(尺曲)

演習(教育)召集令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)  
(第一補充兵何兵) 何 某

右演習(教育)ノ爲何日間何部隊へ召集ヲ令セラル明治何年  
何月何日午 何時何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ當該部隊召  
集事務所ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部印

四寸五分(曲尺)  
五寸(曲尺)

一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

二 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ

第十一様式

召集旅費金何圓何拾錢

陸軍召集條例施行細則

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到着地ヲ記入スヘシ

裏 面

第十二様式

聯隊區司令部ニ於テハ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

受領證

一點呼令狀

右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分 午後 時 分

兵役官(兵種等級第一補充兵何兵)何某印  
召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部 御中

分五寸七

(尺曲)

點呼令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)  
(第一補充兵何兵) 何 某

(尺曲)寸四

右簡閱點呼ノ爲參會ヲ命セラル明治何年何月何日午 何時  
何地ニ到著シ此ノ令狀ヲ以テ簡閱點呼執行官ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部印

四寸五分(曲尺)  
五寸(曲尺)

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 三 本令狀ノ裏面ニハ聯隊區司令部ニ於テ點呼參會者及之ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

陸軍省令第一號

陸軍召集諸費支出規程左ノ通改正ス

明治三十三年一月二十三日

陸軍大臣子爵桂 太郎

陸軍召集諸費支出規程

- 第一條 充員召集補充召集ニ係ル諸費ハ臨時費ニ屬シ定期演習召集教育召集及補缺召集ニ係ル諸費ハ經常費ニ屬ス
- 臨時演習召集ニ係ル諸費ノ所屬ハ臨時之ヲ定ム
- 第二條 召集諸費ヲ分テ召集旅費歸郷旅費召集雜費トス召集旅費ハ應召員ノ旅費、歸郷旅費ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ旅費、召集雜費ハ召集事務所ノ諸費應召員ノ引率諸費召集ニ關係アル官吏公吏ノ出張旅費、諸部團隊官衙公署ニ要スル郵便電信料使丁賃金等トス
- 第三條 召集諸費ノ仕拂命令官ハ師團監督部長トス
- 第四條 召集諸費ノ出納官吏ハ現金前渡ヲ受クル者ニシテハ諸部團隊、道廳、警視廳、府縣廳ノ官吏及郡市長ニシテハ東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ

陸軍召集諸費支出規程

島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テトス但シ必要ニ應シ郡書記ノ北海道沖繩縣  
ハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、以下同シ  
海道廳支廳附ノ屬島廳書記ヲ包含スニ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシメ若ハ警察官吏町村長  
町村長ニ準  
包含ス、以下同シニ出納官吏又ハ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシムルコトヲ得

第五條 師團長ハ召集旅費支給ノ地方區域及其ノ區域ニ於ケル出納官吏又ハ分任出納  
官吏ノ官(職)名ヲ定メ一月三十一日迄ニ聯隊區司令官、警備隊司令官、警備隊區司  
ニ達シ警視總監、地方長官ニ通知スヘシ但シ應召員ノ到著地ニ到著シタル後ニ於テ  
旅費ヲ支給セシムヘキモノアルトキハ之ヲ其ノ出納官吏又ハ分任出納官吏所屬ノ諸  
部團隊長ニモ達スヘシ

召集旅費支給ノ區域ハ數都市島嶼ヲ併セ一區ト爲シ若ハ郡ノ一部ヲ他ノ郡市ニ分屬  
シテ一區ト爲シ或ハ一郡ヲ二區以上ニ分ツコトヲ得

第六條 召集諸費ノ出納官吏分任出納官吏ノ任命ハ郡市長ヲ除クノ外ハ諸部團隊長、  
警視總監又ハ地方長官ニ於テスヘシ

第七條 諸部團隊長、警視總監、地方長官ハ召集諸費前渡ヲ受クヘキ官吏及公吏ノ官  
(職)氏名ヲ師團長ニ通知スヘシ師團長ハ之ヲ當該仕拂命令官及聯隊區司令官ニ通達

シ大藏省ニ報告スヘシ爾後異動アルトキ亦同シ

第八條 陸軍部外ノ出納官吏分任出納官吏ニシテ事故ニ因リ代理ヲ要スルトキ其ノ代  
理者ノ命免、會計規則第九十一條第九十二條及第百條ニ依リ要スル検査員立會員若  
ハ計算書ヲ調製セシムヘキモノノ任命ハ警視總監、地方長官ニ於テスヘシ  
會計規則第九十三條ノ檢定書ハ師團長ニ提出スヘシ

第九條 諸部團隊長、警視總監及地方長官ハ第五條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ之  
ヲ所轄出納官吏又ハ分任出納官吏ニ達スヘシ

第十條 郡市長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ郡市役所 東京市京都市大阪市及北海道  
北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ區役所、  
島廳、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島廳ニ準スヘキモノ、以下同シ  
町村役  
場ノヲ包含ス、以下同シニ要スル召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表 第一ヲ作り二月  
十五日迄ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第十一條 聯隊區司令官ハ充員召集名簿待命員名簿ニ依リ召集旅費及充員召集補充召  
集實施ニ方リ聯隊區司令官、警備隊司令官、警備隊區司令官ニ要スル召集雜費ヲ計算シ且  
前條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表 第二ヲ作り二月二十八

陸軍召集諸費支出規程

日迄ニ師團長ニ差出スヘシ  
他ノ聯隊區ノ郡市長村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作りテ二月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十二條 師團監督部長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ監督部ニ要スヘキ召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

第十三條 憲兵隊長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ憲兵隊本部、憲兵分隊本部、憲兵屯所及憲兵分屯所ニ要スヘキ召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

第十四條 警視總監、地方長官ハ充員召集補充召集實施ニ方リ道廳、警視廳、府縣廳、警察署、警察分署、巡查駐在所、巡查派出所及集合場ニ於ケル召集事務所ノ設置ニ要スヘキ雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス二月二十八日迄ニ師團長ニ送付スヘシ

第十五條 師團長ハ充員召集ニ應スヘキ將官同相當官ノ旅費召集ニ關シ各隊ヨリ集合

場其ノ他ニ派遣スヘキ者ヲ旅費召集事務所集合場ニ於ケルニ於ケル雜費應召員中事故ニ因リ歸郷セシムヘキ者ノ旅費應召員ヲ引率諸費及其ノ他ノ雜費ヲ計算シ第十一條乃至第十四條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表四通式ニ通ハ第三様式ヲ作り三月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十六條 聯隊區司令官ハ十二月一日ニ於ケル充員召集名簿待命員名簿ノ現在員ヲ豫定シ更ニ第十一條ノ召集諸費概算表ヲ作り十月三十一日迄ニ師團長ニ差出スヘシ  
他ノ聯隊區ノ郡市町村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作り十月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十七條 師團長ハ前條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ更ニ第十五條ノ召集諸費概算表四通ヲ作り十一月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十八條 陸軍大臣ハ第十五條又ハ第十七條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シテ大藏大臣ニ送付シ當該仕拂命令官ニ下付ス同時ニ其ノ概算表ノ有効期限ヲ定メ大藏大臣ニ通知シ當該師團長及仕拂命令官ニ令達ス但シ有效終期迄ニ次期概算表師團長

及仕拂命令官ニ令達セス且金庫ニ到達セサルトキハ前期概算表ヲ有效トス

第十九條 師團長ハ其ノ計算シタル召集諸費中諸部團隊ノ出納官吏ニ前渡ヲ受ケシムヘキ金額ノ費目ヲ區分シ其金額ヲ當該諸部團隊長ニ達シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十條 聯隊區司令官ハ其ノ計算シタル召集旅費中各出納官吏金庫ヨリ現金直送ハ分任出納官吏ヲ包含スニ前渡ヲ受ゲシムヘキ金額ヲ該出納官吏ニ通知スヘシ但シ諸部團隊附ノ者ニ在テハ其ノ諸部團隊長ニ通知シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ郡市長中其ノ所管外ノ地ニ本籍ノ在ル應召員ニ旅費ヲ支給スヘキ者アルトキ及町村長ニシテ召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ其ノ應召員ノ官等級氏名居住地、到着地集合格場ナルトキ及旅費額ヲ毎年二回該郡市長及町村長ニ通知スヘシ其ノ第一回ハ三月二十日第二回ハ十一月二十日迄トス但シ他ノ聯隊區ニ係ルモノハ第一回ハ三月十日第二回ハ十一月十日迄ニ該司令官ニ通知シ該聯隊區司令官ハ本文ニ依リ取扱フモノトス

諸部團隊ノ出納官吏中召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ前項ニ準シ諸部團隊長ニ

通知シ諸部團隊長之ヲ當該出納官吏ニ達スヘシ

前二項ノ通知後ニ於テ異動アレハ其ノ都度通知スルモノトス

第二十二條 召集旅費ノ支給ヲ爲スヘキ官吏及公吏ハ平時ニ於テ召集旅費受領證書

第五第五樣式ヲ作り置クヘシ

第二十三條 郡市長ハ召集旅費區分表第六ニ通テ作り一通ハ聯隊區司令部ニ送付シ一

通ハ郡市役所ニ備ヘ置キ爾後異動アル毎ニ之ヲ訂正シ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第二十四條 聯隊區司令官ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ製シ第六樣式ニ準シ

應召員ヲ編入スヘキ諸部團隊長ニ送付シ其ノ異動ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ都度

之ヲ通知スヘシ

他ノ師團ノ諸部團隊長ニハ動員ノ際之ヲ送付スルコトヲ得

第二十五條 諸部團隊長ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管シ歸郷旅費計算ノ

用ニ供スヘシ

第二十六條 師團長ハ平時豫メ召集諸費仕拂請求書ヲ作り置クヘシ

第二十七條 仕拂命令官ハ平時ニ於テ仕拂命令發行ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

陸軍召集諸費支出規程

第二十八條 陸軍大臣ハ平時ニ於テ召集諸費ノ豫算要求書及仕拂豫算計算書ヲ作り置キ充員召集若ハ補充召集ニ際シ其ノ要求書ハ大藏大臣ニ送付シ其ノ裁定濟ノ通知ヲ得テ即時當該師團長及仕拂命令官ニ令達シ其ノ計算書ハ大藏省、會計検査院及仕拂命令官ニ送付ス

第二十九條 師團長ハ前條ノ令達ヲ受ケタルトキハ動員ノ區分ニ應シ召集諸費概算表ノ金額ニ基キ現金前渡ノ仕拂ヲ當該仕拂命令官ニ請求スヘシ

第三十條 仕拂命令官ハ前條ノ請求書ヲ調査シ直ニ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ送金ニ係ルモノハ電信ノ便アヤハ電信送金ト爲スヲ要ス

第三十一條 出納官吏及分任出納官吏前條ノ仕拂命令ヲ受ケタルトキハ現金ヲ受領シ所要ノ仕拂ヲ爲スヘシ其ノ召集旅費ノ支給ヲ爲ストキハ第二十二條ノ受領證書氏名ノ下ニ捺印セシムヘシ若シ印章ヲ携帯セサル者アルトキハ捺印セシムルモ妨ナシ

前項ノ受領證書ニ記載シタル者ニシテ前渡金ノ決算ヲ爲ス迄ニ旅費ヲ支給セサル者アルトキハ朱線ヲ以テ其ノ氏名ヲ塗抹シ證明ヲ捺スヘシ

第三十二條 充員召集補充召集實施ニ方キ其ノ諸費ニ係ル事務ハ晝夜ヲ分タス之ヲ處

辨シ其ノ通達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用キルモノトス其ノ使丁ヲ用キルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス

第三十三條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文ヲ至急官報ヲ以テ返電スヘシ

第三十四條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル諸部團隊官衙及公署ノ往復書類ニハ動ノ字ヲ冠シタル番號ヲ附スルモノトス但シ必要ニ應シ動ノ字ノ下ニ他ノ文字ヲ加フルントヲ得

第三十五條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル文書ヲ發送スルニハ動員用封筒第七式ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第三十六條 出納官吏ハ前渡金受領ノ日ヨリ三十日內ニ會計検査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ヲ師團司令部ヲ經テ仕拂命令官ニ送付シ其ノ仕拂殘金ハ仕拂命令官ノ返納告知書ヲ得テ金庫ニ納付スヘシ但シ返納告知書ヲ受ケサル前ニ於テ嗣後ノ



召集アルトキハ其ノ殘金ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキモノトス  
分任出納官吏ノ仕拂計算書及證憑書類ハ主任出納官吏ニ提出シ該官吏ハ自己ノ計算  
ニ併算スルモノトス

第三十七條 召集旅費ハ本籍地ヨリ到着地迄ノ里程ニ應シテ本籍地所屬ノ旅費支給區  
域ニ於ケル出納官吏ヨリ支給スルモノトス但シ必要ニ應シ本籍地支給區域外最寄ノ  
旅費支給所ニ於テ支給スルコトヲ得

演習召集又ハ教育召集中他ノ部隊ノ充員召集及補充召集ニ應スヘキ者ノ召集旅費ハ  
甲乙部隊間ノ順路ニ依リ演習召集又ハ教育召集部隊ニ於テ支給スヘシ其ノ部隊動員  
セサル場合ニ於テハ其ノ召集旅費ハ應召員本籍所管聯隊區司令官ノ請求ニ基キ充員  
召集及補充召集部隊所管ノ師團司令部ヨリ送付スルモノトス

第三十八條 到着地ニ到着シタル後ニ於テ召集旅費ヲ支給スル場合ニ於テハ召集部隊  
又ハ部隊ヨリ集合場ニ派遣シタル出納官吏又ハ分任出納官吏ヨリ支給スルヲ例トス  
第三十九條 集合場ニ到着スヘキ應召員ニシテ事故ニ因リ直ニ召集部隊ニ到着スヘキ  
者其ノ他事故ニ因リ更ニ旅費ノ支給ヲ受クヘキ者ハ其ノ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ

出納官吏又ハ分任出納官吏若ハ其ノ所在地最寄ノ出納官吏又ハ分任出納官吏ニ就キ  
其ノ旅費ノ支給ヲ受クヘシ

前項ニ依リテ召集旅費ヲ支給シタル者ハ直ニ其ノ金額氏名ヲ應召員ノ到着スヘキ部  
隊ニ通知スヘシ

第四十條 召集部隊長ハ途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リタル應召員ニ歸郷ヲ命スル場合ニ  
於テハ該部隊ヨリ其ノ滞在中ノ日當及歸郷旅費召集旅費ノ剩ヲ支給スルモノトス但  
シ應召員所在地ノ召集諸費出納官吏又ハ分任出納官吏ニ於テ之ヲ支給シ得ルトキハ  
其ノ旨ヲ通知シ之ニ支給ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 應召員中召集旅費ヲ受領シ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ該旅費ノ返納ヲ  
要スルトキ第三十六條ノ決算後ニ在テハ仕拂命令官ヨリ其ノ徴收ヲ地方長官ニ委任  
スルコトヲ得

第四十二條 復員後ニ於テハ更ニ召集諸費概算表ヲ作ルモノトス但シ概算表調製以前  
ニ於テ充員召集ヲ實施スル場合ニ於テハ動員ヲ行ヒシトキニ於ケル第十五條又ハ第  
十七條ノ概算表ニ依ルモノトス









- 一 封筒用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 勳ノ字ヲ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

勳第 號 通	
受領時刻	月 日 午前 時 分
受領證	

達甲第十三號 (五月三日輪廓附)

府 縣

陸軍武官結婚條例別冊之通被相定候條此旨相達候事

(別冊)

陸軍省

陸軍武官結婚條例別冊之通相定候條此旨相達候事

明治十四年四月二十五日

左大臣 熾仁親王

(別冊)

陸軍武官結婚條例

- 第一條 凡ソ軍人ハ最モ其品位ヲ重ニス故ニ其配偶ヲ擇ミ以テ修身ノ活計ヲ維持セシメ家政ヲ納メテ以テ其職掌ヲ確守セシム若シ配偶其匹ヲ擇ハズ之ヲ輕忽ニセハ一ハ以テ其品位ヲ傷ケ一ハ以テ其營生ニ煩ハサレ遂ニ其職掌ヲ汚シ隨テ全軍ノ精力ヲ殘フニ至ル仍テ左ニ其制限ヲ設ク
- 第二條 凡ソ軍人ノ結婚セント欲スル者將官竝ニ同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ陸軍郷ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 下士卒常備服役中ハ結婚スルヲ許サス然レトモ再服役以上ノ下士竝ニ豫備後

陸軍武官結婚條例

備軍服役中ノ下士卒ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ受テ結婚スルヲ得但憲兵並會計軍醫馬醫軍樂各部ノ下士卒徵兵令ニ依リ徵集シタル看病卒ヲ除ク及ヒ砲兵監護工兵監護ニ在テハ常備服役中ト雖モ所管長官ノ許可ヲ得テ結婚スルヲ得

第四條 結婚ノ許可ヲ得ントスル者ハ第一號書式ニ照シ出願スヘシ

第五條 將官並ニ同等官ニ在テハ陸軍郷奥書シ准士官以上ニ在テハ所管長官下士以下ニ在テハ所屬隊長(課長)豫備及ヒ後備軍下士以下ニ在テハ後備軍使府縣駐在官奥書スヘシ

第六條 其妻ルヘキ婦人ハ行狀端正ノ者ニ非サレハ結婚スルヲ許サス故ニ其行狀ヲ證スル爲メ第二號書式ニ照シ其婦ノ所在地戸長ノ調印シタル身元證書ヲ添フヘシ

第七條 現役士官並ニ同等官以下ニ在テハ家計保護金トシテ左ノ金額ヲ納メシメ陸軍省ニ之ヲ保存シテ以テ其生計ヲ保護セシム故ニ結婚出願ノ時第三號書式ノ證書ヲ出スヘシ

大尉並同等官 四百六拾圓

中少尉並同等官 六百圓

准士官 八拾圓

下士 八拾圓

第八條 第三條但書ニ載スル諸卒ニ在テ結婚スル時ハ第七條ニ準シ家計保護金ヲ納メシム其ノ金額ハ下士ニ同シ

第九條 第七條ノ金額ハ本人又ハ其妻ルヘキ婦人ノ所有或ハ雙方ノ所有ヲ合シタルモ妨ケナシ但シ公債證書ヲ以テ納ムルモ妨ケナシト雖モ大藏省定ムル所ノ價格ヲ以テ之ヲ算シ第七條ノ金額ニ相當セシム

第十條 結婚ヲ整ヘタル時ハ其旨速ニ届出ヘシ但シ家計保護金ハ本文届出同時ニ差出ヘシ

第十一條 家計保護金ヲ還付スルハ左ノ項目ニ依ルヘシ

第一項 上長官ニ昇進セシ時

第二項 恩給ヲ受クルノ權利ヲ有スル時

第三項 本人死没スルカ又ハ現役ヲ離ルル時

第四項 其妻離別スルカ又ハ死亡シタル時

第五項 天災地變ニ罹リ家産擧テ滅亡シタル時

第十二條 結婚願書式並ニ證書式左ノ如シ

第一號書式

結婚願

何府縣國郡區町村  
族籍職業

何某何女(姉)(妹)

某

年號月日生  
年號月何年何箇月

某儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致シ度依テ別紙身元證書(家計保護金證書)相添差  
出候間御許可被下度此段奉願候也

年號一月日

官 姓 名 印

太政大臣(陸軍卿)(所管長官)宛

前書之趣篤ト取調候處不都合無之ニ付御許可相成度候也

陸軍卿(所管長官)(何隊長)(何課長)

官 姓 名 印

第二號書式

身元證書

何府縣國郡區町村  
族籍職業

何某何女(姉)(妹)

某

年號月日生  
年號月何年何ヶ月

右ハ行狀端正ノ者ニ有之候此段致保證候也

何府縣國郡區町村戸長  
戸長アラサ  
ル地ハ區長

年號月日

姓 名 印

第三號書式

陸軍武官結婚條例



家計保護金證書

一金何百何拾圓也

右ハ今般結婚奉願候ニ付御許可ノ上ハ家計保護金トシテ可差出候也

年號月日

官 姓 名 印

朕陸軍武官進級令制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍武官進級令

第一條 陸軍武官ノ進級ハ級ヲ逐フテ歷進セシム又欠員ナキトキハ補除スルコトナジ

第二條 陸軍武官ハ實役停年最下期限ヲ超ユルニアラサレハ進級スルコトヲ得ス

第三條 實役停年最下期限ヲ定ムルコト左ノ如シ

伍長ヨリ軍曹ニ進ムハ實役停年半年軍曹ヨリ曹長ニ進ムハ實役停年一年曹長ヨリ特務曹長ニ進ムハ實役停年二年特務曹長ヨリ少尉ニ進ムハ實役停年二年但憲兵曹長ノ同少尉ニ進ムハ實役停年四年  
少尉ヨリ中尉ニ中尉ヨリ大尉ニ進ムハ實役停年各二年大尉ヨリ少佐ニ進ムハ實役停年四年  
少佐ヨリ中佐ニ進ムハ實役停年三年

中佐ヨリ大佐ニ大佐ヨリ少將ニ進ムハ實役停年各二年

少將ヨリ中將ニ進ムハ實役停年三年

中將ノ大將ニ進ムハ歴戦者ニ就キ特旨ヲ以テ親任スルヲ例トシ最下期限ヲ定ムルコ

陸軍武官進級令

トナシ

第四條 戰時ニ在テハ各官ノ實役停年ヲ其半ニ減スルコトヲ得

第五條 休職停職ノ年月ハ實役停年ニ算入セス但シ敵ノ捕虜トナリ休職ニ入ル者正當ノ理由アルトキハ其年月ヲ實役停年ニ算入スルコトヲ得

第六條 陸軍武官進級ノ法ニアリ一ヲ停年補除トシ一ヲ拔擢補除トス

第七條 停年補除トハ實役停年最下期限ヲ起エタル順次ニヨリ進級セシムルヲ云ヒ拔擢補除トハ實役停年最下期限ヲ超エタル者ニ付キ拔擢進級セシムルヲ云フ其區別左ノ如シ

伍長ヨリ軍曹ニ軍曹ヨリ曹長ニ曹長ヨリ特務曹長ニ進ムハ皆拔擢トス

少尉ヨリ中尉ニ進ムハ停年三分二拔擢三分一トス

中尉ヨリ大尉ニ進ムハ停年拔擢相半ス

大尉ヨリ少佐ニ少佐ヨリ中佐ニ中佐ヨリ大佐ニ進ムハ皆拔擢トス

戰時若クハ事變ニ際シ動員ヲ行ヒタル各部團隊ニ屬スル中少尉ノ進級ハ皆拔擢トス

第八條 將校ハ職權ニ依テ部下ヲ拔擢スルノ權ヲ有ス但直屬長官アル者ハ其ノ監督ノ

下ニ在テ之ヲ行フ

第九條 將官ノ進級及將官ニ進級スルハ上裁ニ出ツルト雖トモ先ツ内旨ヲ陸軍大臣ニ諭スヲ例トス

第十條 特務曹長及憲兵曹長ノ少尉ニ進級スルハ特例トス此選ニ當ルヲ得ル者ハ功績拔群ニシテ士官タルノ學力ヲ有スル者ニ限ル

第十一條 陸軍大臣ハ毎年將校ノ實役停年名簿ヲ作り之ヲ奏上スヘシ

第十二條 將校ノ拔擢進級候補及准士官ノ將校ニ進級スル候補ハ上裁ニ出ツル者トス陸軍大臣ハ上旨ヲ奉シテ決定候補名簿ヲ調製スヘシ

第十三條 下士ノ准士官ニ進級シ及下士ノ進級スル候補ハ師團長及之ト同等以上ノ權アル長官並經理局長醫務局長之ヲ裁決シテ決定候補名簿ヲ調製スヘシ

第十四條 決定候補名簿ハ其調製ノ日ヨリ次年決定候補名簿調製ノ日迄之ヲ用ユヘシ

第十五條 左ノ場合ニ在テハ前諸條ノ例ニ依ラス進級セシムルコトヲ得

一 敵前ニ在テ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告セシ者

二 敵前ノ軍隊ニ在テ人員缺亡シ補除定規ヲ履ム能ハサルトキ

第十六條 興軍ノ日ニ當リテ戰地ニ臨ムノ首將ニハ特ニ進級補除ノ權ヲ假スコトアル  
ヘシ

第十七條 將校相當官衛生部軍吏部軍樂部下士及諸工長ノ進級ハ將校及各兵科下士進  
級ノ令ニ依ル

第十八條 曹長ノ特務曹長ニ進級スルハ入隊後八箇年以上服役シタル者ニ限ル

砲工兵曹長及砲兵一等諸工長ノ砲工兵上等工長ニ進級スルハ入隊後 砲兵工長候補生  
ニ在リテハ入隊後 徒ヨリ出身ノ者  
ハ入隊後 八箇年以上服役シ實役停年二年ヲ超エタル者ニ限ル

前項砲工兵曹長ノ進級ニ付テハ其服役年中砲兵工廠兵器廠築城部砲工兵會議ニ於テ  
二箇年已上服務シタルコトヲ要ス

第十九條 一等樂手ノ樂長補ニ進級スルハ實役停年最下限ヲ二年トス樂長補ノ樂長ニ  
進級スルハ實役停年五年ヲ超エ効勞顯著ナル者ニ限ル

第二十條 前二條ニ依リ進級スルハ皆拔擢ス

第二十一條 短期下士タル伍長ハ平時ニ在リテハ軍曹ニ進級セシムルコトナシ

第二十二條 第十八條ノ服役年ハ教導團要塞砲兵射擊學校出身者ニ在リテハ入團又ハ

入校ノ日ヨリ起算ス

第二十三條 第十八條第一項ノ服役年ハ當分ノ内之ヲ六箇年ニ短縮スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ施行ス

明治三十二年十一月三十日現在ノ二等軍曹同相當官及諸工下長タル下士ハ本令施行ノ  
際直ニ軍曹同相當官及二等諸工長ニ任スルコトヲ得其區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム其任官  
後曹長同相當官及一等諸工長ニ進級スル實役停年ハ一年六箇月トス

朕陸軍士官學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年十月一日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第二百二十六號

陸軍士官學校條例

第一條 陸軍士官學校ハ陸軍各兵科士官候補生ヲ以テ生徒ト爲シ初級士官タルニ必要ナル教育ヲ爲ス所トス

第二條 生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第三條 生徒教育ノ實施ハ教則ニ依ル該教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ校長案ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ請ケ之ヲ定ム

第四條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 少將大佐

副官 大中尉

教官 中少佐、大中尉、軍醫、獸醫、陸軍教授、陸軍助教

陸軍士官學校條例

生徒隊長 中少佐  
 生徒隊中隊長 大尉  
 生徒隊附 中尉  
 軍醫  
 獸醫  
 軍吏  
 准士官、下士、判任文官  
 第五條 校長ハ教育總監ニ隸シ校務ヲ總理シ生徒教育ノ責ニ任ス  
 第六條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル  
 第七條 軍事學教官ハ軍事學各科ノ授業ヲ分擔シ佐官教官ヲ以テ各科ノ科長トス  
 第八條 馬術教官ハ生徒ノ馬術訓練ニ任シ兼テ校廐一切ノ事ヲ統ヘ馬匹ノ調教ヲ掌ル  
 第九條 文官教官ハ外國語學ノ授業ヲ分擔ス  
 第十條 生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ヘ生徒ノ訓育ヲ監督シ各中隊長ヲシテ擔任ノ訓育ニ任  
 セシメ校長ニ對シ齊ニ進歩ノ責ニ任ス

第十一條 中隊長ハ生徒隊附士官ヲ指揮シ中隊生徒ノ訓育ヲ擔任シ其成績ニ就テハ專  
 ラ擔保ノ責ニ任ス  
 第十二條 生徒隊附士官ハ生徒訓育ノ諸科目ヲ分擔シ日常生徒ノ躬行ヲ監視シ分擔ノ  
 訓育ニ就テハ其責ニ任ス  
 第十三條 生徒ノ修學期ハ毎年十二月一日ヨリ翌年十一月下旬ニ至ル十二箇月トス  
 第十四條 生徒ノ諸給與ニ別ニ定ムル所ノ規定ニ據ル  
 第十五條 生徒入校中ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス  
 第十六條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サス  
 第十七條 生徒中左ノ事項ニ該ル者ハ退校セシム  
 一 學術ノ習得全カラスシテ實際修學ノ識力ニ乏シク卒業ノ目途ナキ者  
 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者  
 三 品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者  
 四 傷疾疾病ニ依リ修學ニ堪ヘサル者  
 五 卒業試験ニ落第セシ者

- 第十八條 前條第一第四及第五項ニ該當シ退校セシメシ士官候補生ニシテ尙望ミアル者ハ次ノ學期ニ於テ再ヒ入校セシムルコトヲ得
- 第十九條 生徒中疾病及其他ノ事故ニ依リ修學期內ニ所定ノ學術ヲ修メ得サル者又ハ卒業試験ヲ受ケ得サル者ハ猶滯學ヲ命スルコトヲ得
- 第二十條 本條例第十七條及第十九條ニ該ル者アルトキハ校長其事由ヲ具シ教育總監ニ上申シ教育總監之ヲ裁定處分ス
- 第二十一條 生徒修學期末ニ至レハ校長ハ卒業試験規格ヲ撰シ教育總監ニ上申ス教育總監ハ之ヲ裁定シ校長ヲシテ卒業試験ヲ行ハシム
- 第二十二條 卒業試験ヲ終レハ校長ハ各教官生徒隊長及中隊長ヲ集メ會議ヲ開キ成績ヲ調査シ考科列序ヲ定メ教育總監ノ認可ヲ受ケ及第者ニ卒業證書ヲ附與ス
- 第二十三條 卒業證書ヲ附與シタル者ニハ校長直ニ歸隊ヲ命ス
- 第二十四條 滯學ヲ命セラレタル生徒修學ヲ終レハ前諸條ニ準シテ取扱フモノトス
- 第二十五條 生徒ニハ三週間以内ノ夏季休暇ヲ與フルコトヲ得
- 第二十六條 教官、中隊長及生徒隊附士官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトアルヘシ

朕陸軍中央幼年學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年十月一日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第二百二十八號

陸軍中央幼年學校條例

- 第一條 陸軍中央幼年學校ハ陸軍地方幼年學校卒業者ヲ以テ生徒ト爲シ地方幼年學校ノ教育ニ連繫シテ士官候補生タルニ必要ナル普通學科及軍人ノ豫備教育ヲ爲シ陸軍各兵科士官候補生ト爲スヘキ者ヲ養成スル所トス
- 第二條 生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其綱領ハ教育總監之ヲ定ム
- 第三條 生徒教育ノ實施ハ教則ニ依ル該教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ校長案ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ請ケ之ヲ定ム
- 第四條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 大中佐  
副官 大中尉

陸軍中央幼年學校條例

教官 大中尉、陸軍教授、陸軍助教  
 生徒隊中隊長 大尉  
 生徒隊中隊附 中尉  
 軍醫  
 獸醫  
 軍吏  
 准士官、下士、判任文官  
 第五條 校長ハ教育總監ニ隸シ校務ヲ總理シ生徒教育ノ責ニ任シ東京陸軍地方幼年學校ヲ管轄ス  
 第六條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル  
 第七條 馬術教官ハ生徒ノ馬術訓練ニ任シ兼テ校庭一切ノ事ヲ統ヘ馬匹ノ調教ヲ掌ル  
 第八條 文官教官ハ各學科ノ授業ヲ分擔ス  
 教官中適任者一名ヲ選テ教頭ト爲シ教授部全般ノ授業ヲ監視シ校長ニ對シ齊一進歩ノ責ニ任セシム

第九條 中隊附士官ヲ指揮シ中隊生徒ノ訓育ヲ擔任シ軍人精神ヲ涵養シ生徒ヲシテ軍紀ニ慣熟セシメ其成績ニ就テハ專ラ擔保ノ責ニ任ス  
 第十條 中隊附士官ハ生徒訓育ノ諸科目ヲ分擔シ日常生徒ノ躬行ヲ監視シ自ラ模範ト爲リ之ヲ指導シ分擔ノ訓育ニ就テハ其責ニ任ス  
 第十一條 生徒ノ修學期ハ九月一日ヨリ翌翌年五月下旬ニ至ル二十一月トシ之ヲ二學年ニ分チ各學年ハ毎年九月一日ヨリ開始ス  
 第十二條 生徒ノ修學ニ所要ノ器具及圖書等ハ貸與又ハ支與スルコトヲ得  
 第十三條 陸軍地方幼年學校條例第十二條乃至第十八條ノ規定ハ本校生徒ノ爲メニモ亦之ヲ適用ス  
 第十四條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サス  
 第十五條 生徒中左ノ事項ニ該ル者ハ退校セシム  
 一 學術ノ修得全カラスシテ卒業ノ前途ナキ者  
 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢々法則ヲ犯ス者  
 三 品行不正ニシテ改悛ノ前途ナキ者

四 傷疾疾病ニ依リ修學ニ堪ヘサル者

五 卒業試験ニ落第セシ者

第十六條 生徒中各學年ニ於テ所定ノ學術ヲ修メ得サル者或ハ疾病等ニ依リ卒業試験ヲ受ケ得サル者又ハ卒業試験ニ落第セシ者ト雖モ尙望ミアル者ハ滯學補修ヲ爲サシメタル後テ卒業セシメ又ハ一學年延期修學セシムルコトヲ得但滯學日數ハ士官候補生教育ニ支障ナキヲ度トシ又延期ハ全學期ヲ通シテ一回限リトス

第十七條 生徒中卒業試験ニ及第スルモ傷疾疾病等ニテ士官候補生ト爲スヲ得サル者ニハ單ニ卒業證書ヲ附與シテ退校セシム

第十八條 前三條ニ該ル者アルトキハ校長其事由ヲ具シ教育總監ニ上申シ教育總監之ヲ裁定處分ス

第十九條 生徒修學期末ニ至レハ校長ハ卒業試験規格ヲ撰シ教育總監ニ上申ス教育總監ハ之ヲ裁定シ校長ヲシテ卒業試験ヲ行ハシム

第二十條 卒業試験ヲ終レハ校長ハ各教官及中隊長ヲ集メ會議ヲ開キ成績ヲ調査シ考科列序ヲ定メ教育總監ノ認可ヲ請ケ及第者ニハ卒業證書ヲ附與ス

第二十一條 教育總監ハ前條卒業者中士官候補生トナスヘキ者ヲ定メ之ニ士官候補生

ヲ命シ各隊ニ配賦ス

前項士官候補生ヲ命セラレタル生徒ニハ入隊前ニ一週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十二條 滯學ヲ命セラレタル生徒補修終レハ前諸條ニ準シテ取扱フモノトス

第二十三條 毎年生徒ニ五週間以内ノ夏期休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十四條 教官、中隊長及中隊附士官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲナサシムルコトアルヘシ

附則

第二十五條 明治三十二年前入學ノ本校生徒ハ其卒業ニ至ル迄本條例第十一條及第十三條ノ規定ハ左ノ各條ニ據リ取扱フ

第二十六條 生徒修學期ハ概テ三箇年トシ各學年ハ毎年九月ニ始メ而シテ第三年ニ在リテハ五月ニ終ル

第二十七條 生徒ハ官費、半官費、自費ノ三種ニ分ツ



官費生徒ハ一切ノ經費ヲ官給シ且手當金ヲ給ス半官費生徒ハ小被服賄料ノ經費自費生徒ハ被服、糧食一切ノ經費ヲ納メシム其金額ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十八條 戰死又ハ公務ノ爲メ死亡シタル高等官ノ孤兒ハ官費生徒トス

第二十九條 前條ノ外官費、半官費、自費生徒ノ區分ハ教育總監之ヲ裁定ス

朕陸軍地方幼年學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年十月一日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第二百二十九號

陸軍地方幼年學校條例

第一條 陸軍地方幼年學校ハ陸軍將校ニ出身志願ノ者ヲ撰拔シテ生徒ト爲シ軍事上ノ必要ヲ顧慮シテ普通學科ヲ教授シ軍人精神ヲ涵養シ陸軍中央幼年學校生徒ト爲スヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條 陸軍地方幼年學校ハ左ノ六箇所ニ置ク  
東京 仙臺 名古屋 大阪 廣島 熊本

第三條 生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第四條 生徒教育ノ實施ハ教則ニ依ル該教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ校長案ヲ具シ教育總監ニ上申シ東京陸軍地方幼年學校長ニ在テハ陸軍中央幼年學校長ヲ經由ス以下倣之教育總監之ヲ裁定ス

第五條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 少佐  
 副官 中尉  
 教官 陸軍教授、陸軍助教  
 生徒監 大中尉  
 軍醫  
 軍吏  
 下士、判任文官  
 校長以下將校同相當官及下士ハ豫備後備役ノ者ヲ以テ充ツルコトヲ得其身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ  
 第六條 校長ハ教育總監 東京陸軍地方幼年學校長 陸軍中央幼年學校長ニ隸シ校務ヲ總理シ生徒教育ノ責ニ任ス  
 第七條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル  
 第八條 教官ハ各學科ノ授業ヲ分擔ス  
 教官中適任者一名ヲ選テ教頭ト爲シ教授部全般ノ授業ヲ監視シ校長ニ對シ齊一進歩

ノ責ニ任セシム  
 第九條 生徒監ハ生徒ノ訓育ヲ擔任シ軍人精神ヲ涵養シ日常其躬行ヲ監視シ自ラ模範ト爲リテ之ヲ指導シ其成績ニ就テハ專ラ擔保ノ責ニ任ス  
 第十條 生徒ノ修學期ハ九月一日ヨリ第四年ノ八月下旬ニ至ル三十六箇月トシ之ヲ三學年ニ分チ各學年ハ毎年九月一日ヨリ開始ス  
 第十一條 生徒ノ修學ニ所要ノ器具及圖書等ハ貸與又ハ支給スルコトヲ得  
 第十二條 生徒ハ總テ校內ニ寄宿セシム  
 生徒ハ入學中被服、糧食其他ノ費用トシテ若干ノ納金ヲ爲スモノトス之ヲ自費生ト稱ス  
 第十三條 生徒中左ノ各項ニ該ル者ハ列記ノ順序ニ從ヒ資産ヲ顧慮シ若干名ヲ限リテ特ニ納金ノ全額ヲ免除スルコトヲ得之ヲ特待生ト稱ス  
 一 戰死及戰傷ニ依リ死歿シ又ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將校及同相當官並ニ高等文官ノ孤兒  
 二 現職中公務ノ爲メニ死歿シタル陸海軍將校及同相當官ノ孤兒  
 三 增加恩給權ヲ得タル陸海軍將校及同相當官ノ孤兒

四 恩給權ヲ得タル陸海軍將校及同相當官ノ孤兒  
五 特ニ國家ニ功勞アル高等官ノ孤兒

第十四條 生徒中左ノ各項ニ該ル者ハ列記ノ順序ニ從ヒ資産ヲ願慮シ若干名ヲ限リテ  
特ニ納金ノ内帽、日覆、絨衣袴、肩章夏衣袴、外套及精米料ヲ免除スルコトヲ得之ヲ  
半特待生ト稱ス但前條ノ各項ニ該ル者ノ内特待生ト爲ササル者ハ之ヲ半特待生ト爲  
スコトヲ得

- 一 現職ニ在ル陸海軍尉官及同相當官ノ兒子
- 二 恩給權ヲ得タル陸海軍尉官及同相當官ノ兒子
- 三 陸海軍少佐及同相當官ニ名譽進級ヲ爲シタル者ノ兒子

第十五條 家督相續者タル養子ハ前二條中ノ孤兒或ハ兒子ニ準ス

第十六條 特待生半特待生ト爲スヘキ人員及其區分教育總監ハ陸軍大臣ニ協議シテ之  
ヲ定ム

第十七條 本條例中孤兒及兒子ハ總テ同戶籍内ニ現在スルモノニ限ル又一家ヨリ重複  
シテ特待ヲ受クルヲ得サルモノトス

第十八條 特待生、半特待生及自費生ノ納金額ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條 生徒中止ムヲ得サル事故アリテ退校ヲ願出ル者アルトキハ其事情ニ依リ之  
ヲ許スコトアルヘシ

第二十條 生徒中左ノ事項ニ該ル者ハ退校セシム

- 一 學術ノ修得全カラスシテ卒業ノ目途ナキ者
- 二 屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

第二十一條 傷痍疾病ニ依リ修學ニ堪ヘサル者

四 卒業試験ニ落第者

第二十一條 生徒中各學年ニ於テ所定ノ學科ヲ修メ得サル者或ハ疾病等ニ依リ卒業試  
験ヲ受ケ得サル者又ハ卒業試験ニ落第セシ者ト雖モ尙望ミアル者ハ一學年延期修學  
セシムルコトヲ得

第二十二條 前二條ニ該ル者アルトキハ校長其事由ヲ具シ教育總監ニ上申シ教育總監  
之ヲ裁定處分ス

第二十三條 生徒修學期末ニ至レハ校長ハ卒業試験規格ヲ撰シ教育總監ニ上申ス教育

總監ハ之ヲ裁定シ校長ヲシテ卒業試験ヲ行ハシム

第二十四條 卒業試験ヲ終レハ校長ハ各教官生徒監ヲ集メ會議ヲ開キ成績ヲ調査シ考科列序ヲ定メ教育總監ノ認可ヲ請ケ及第者ニハ卒業證書ヲ附與ス

第二十五條 教育總監ハ地方幼年學校長ヲシテ前條卒業者ニ中央幼年學校へ入學ヲ命セシム

第二十六條 前條ノ生徒ハ中央幼年學校ニ入校ノ期日ニ至ル迄休暇ヲ與ヘ歸省又ハ他行ヲ許スコトヲ得但此間ニ於ケル生徒ノ身分ハ地方幼年學校ニ屬ス

第二十七條 每年生徒ニ五週間以内ノ夏期休暇ヲ與フルコトヲ得

朕陸軍經理學校條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年五月十五日

陸軍大臣侯爵大山 巖

勅令第二百二十三號

陸軍經理學校條例

第一條 陸軍經理學校ハ陸軍監督補、陸軍軍吏及陸軍縫工長靴工長ト爲ナスヘキ者ヲ養成スル所トス

監督補ト爲スヘキ者ヲ監督學生、軍吏ト爲スヘキ者ヲ軍吏學生、縫工長靴工長ト爲スヘキ者ヲ工長候補生ト稱ス

第二條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 一、二等監督

副官 一、二等軍吏

軍醫 一等軍醫

教官 參謀中、少佐騎兵大尉二、三等監督監  
督補一、二等軍吏陸軍教授陸軍技師

陸軍經理學校條例

- 第三條 前條ニ掲クル職員ノ外下士屬及教員トシテ判任文官若クハ雇員並備人ヲ置ク
- 第四條 校長ハ陸軍省經理局長ニ隸シ校務ヲ總理シ學生及生徒教育ノ責ニ任シ軍吏學生及工長候補生入學試験ニ係ル事ヲ掌ル
- 第五條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル
- 第六條 軍醫ハ衛生事務ヲ擔任ス
- 第七條 教官ノ内參謀官ハ監督學生、軍吏ハ軍吏學生、教員ハ工長候補生ノ教授ヲ擔任シ其他ノ教官ハ各學生及生徒ノ教授ヲ分擔ス
- 第八條 監督學生ハ年齢四十歳以下ノ現役休職停職ハ除ク各兵科大尉一等軍吏及實役停年一箇年以上ノ各兵科中尉二等軍吏ノ志願者ニシテ試験ニ合格シタル者ヲ選抜シテ採用ス但陸軍大學校卒業ノ者ハ試験ヲ行ハス
- 前項ノ年齢及停年ヲ算スルハ七月一日ヲ以テス
- 第九條 監督學生志願者ハ六月三十日迄ニ願書ヲ聯隊長又ハ所屬長官ニ出スヘシ聯隊長又ハ所屬長官ハ之ヲ調査シ其ノ願書ニ自己ノ意見書及考科表寫ヲ添ヘ順序ヲ經テ之ヲ所屬長官ニ呈ス所屬長官ハ七月三十一日迄ニ之ヲ經理局長ニ送附スヘシ但軍吏

- ヨリ志願スル者ノ願書ハ聯隊長又ハ所屬長官ヨリ當該監督部長ニ送附シ監督部長ハ之ヲ調査シ自己ノ意見書及考科表寫ヲ添ヘ經理局長ニ呈スヘシ
- 陸軍省及陸軍省經理局所屬官衙ノ軍吏ヨリ志願スル者ノ願書ハ所屬長官ヨリ經理局第一課長ニ移シ同課長前項但書ノ取扱ヲ爲スヘシ
- 第十條 經理局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ受験者名簿ヲ製シ陸軍大臣ニ進達ス
- 第十一條 陸軍大臣ハ監督學生志願者ノ學力ヲ檢定スル爲メ監督學生試験委員ヲ設ケ經理局長ヲ委員長ト爲シ筆記及口述ノ試験ヲ行ハシム
- 第十二條 筆記試験ハ陸軍大臣其時日ヲ定メ試験委員長ヲシテ受験者名簿及祕封問題ヲ所屬長官ニ送附セシム所屬長官ハ志願者ヲ集メ次席ノ將校同相當官ノ監視ヲ以テ之カ答解ヲ筆記セシメ答解書ヲ直ニ試験委員長ニ送附セシム
- 第十三條 試験委員長ハ筆記試験ノ成績ニ依リ口述試験ヲ受クヘキ者ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ各所屬長官ニ通知ス所屬長官ハ其ノ受験者ヲ經理局ニ派遣ス
- 第十四條 口述試験ハ學力應用ノ如何ヲ檢定スルモノニシテ試験委員之ヲ行フ但時宜ニ依リ筆記試験ヲモ併セ行フコトアルヘシ

第十五條 試驗委員長ハ筆記口述兩試驗ノ成績ニ依リ監督學生ニ採用スヘキ者ヲ定メ陸軍大臣ニ上申ス陸軍大臣ハ之ヲ裁定シ經理學校監督學生ヲ命ス

第十六條 軍吏學生ハ年齢三十二歳以下ノ現役林職停職ハ除ク步騎砲工輜重兵特務曹長及一箇年以上現官ニアル現役各兵科曹長一等計手ノ志願者ニシテ試験ニ合格シタル者ヲ選拔シテ採用ス

前項ノ年齢及停年ヲ算スルハ七月一日ヲ以テス

第十七條 軍吏學生志願者ハ五月三十一日迄ニ願書ヲ聯隊長又ハ所屬長官ニ出スヘシ聯隊長又ハ所屬長官ハ之ヲ調査シ其願書ニ考料表寫ヲ添ヘテ之ヲ當該監督部長ニ送附スヘシ但陸軍省及陸軍省經理局所屬官衙ノ計手ヨリ志願スル者ノ願書ハ經理局第一課長ニ送附スヘシ

第十八條 經理局第一課長及監督部長ハ前條ノ書類ヲ審査シ受檢者名簿ヲ製シ六月三十日迄ニ經理局長ニ進達ス經理局長ハ之ヲ經理學校長ニ下附ス

第十九條 軍吏學生採用試験ハ經理局長其ノ時日ヲ定メ經理學校長ヲシテ試験問題ヲ作り之ヲ經理局第一課長及各監督部長ニ送附セシム經理局第一課長及各監督部長ハ

試験委員ヲ設ケ試験ヲ施行ス

監督部所在地外ニアル者ハ監督部長ヨリ試験施行ヲ本人ノ所屬長官ニ依託スルコトヲ得

第二十條 經理局第一課長及各監督部長ハ前條試験ノ答解書ヲ審査シ優等者ノ答解書ニ得點表及受験者ニ係ル自己ノ意見書ヲ添ヘ經理局長ニ呈ス經理局長ハ之ヲ經理學校長ニ下附ス

第二十一條 經理學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ優劣人名簿ヲ製シ之ニ自己ノ意見書ヲ添ヘ經理局長ニ呈ス經理局長ハ之ヲ審査シ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケテ軍吏學生ニ採用スヘキ者ヲ定メ各其ノ所管長官ニ通知ス所管長官ハ本人ニ經理學校軍吏學生ヲ命ス但經理局所屬官衙ノ者ハ經理局長之ヲ命ス

第二十二條 工長候補生ハ各隊初年縫工靴工及陸海軍豫備役後備役ニ非ラサル者ニシテ召集試験ニ及第シタル者ヨリ採用ス

工長候補生ハ縫工、靴工ヨリ採用スル者ヲ學生其ノ他ヨリ採用スル者ヲ生徒ト稱ス

第二十三條 各學生及生徒ノ人員入校時日及其採用ニ關スル規程ハ陸軍大臣之ヲ定メ

告達ス

第二十四條 各學生入學ノ告達アレハ聯隊長、直屬長官ハ本人ノ兵籍寫ヲ經理局長ハ監督學生ノ考科表寫ヲ經理學校長ニ送附スヘシ

第二十五條 修學期ハ監督學生ハ概テ二箇年軍吏學生及工長候補生ハ概テ一箇年半トス

第二十六條 監督學生、軍吏學生ハ校外ニ工長候補生ハ校内ニ居住セシメ修學ニ所要ノ書籍器具及消耗品ハ貸與又ハ支給ス

生徒ニハ被服糧食及手當金ヲ支給ス

第二十七條 各學生ノ名籍ハ原所管ニ存置シ願届其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十八條 各學生及生徒ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退校スルヲ許サス

第二十九條 校長ハ期ヲ定メテ各學生及生徒ノ試験ヲ施行シ其終末試験ヲ終レハ其成績ヲ審査シ列序ヲ定メ考科表ヲ製シ經理局長ニ進達シ其認可ヲ請ケテ卒業證書ヲ附與ス

第三十條 校長ハ各學生及生徒中傷痍疾病ノ爲メ終末試験ヲ受クルコト能ハサル者アルトキハ詮議ノ上尙若干月間修學ヲ許シ又ハ特ニ本人ノ爲メニ試験ヲ施行スルコトアルヘシ

第三十一條 監督學生軍吏學生中疾病其他ノ事故ニテ卒業ノ目途無キ者ハ退校ノ上原所管ニ復歸セシム

第三十二條 工長候補生中左ノ事項ノ一ニ當ル者ハ退校ヲ命シ又ハ現所管ニ復歸セシム

其一 學術ノ修得全カラスシテ卒業ノ目途ナキ者

其二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

其三 品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

其四 自己ノ不攝生ヨリ發病シ久シク休業スル者

其五 長病ニ罹リ卒業ノ目途ナキ者

其六 終末試験ニ落第セシ者

第三十三條 校長ハ工長候補生中優等ノ者ハ學期未滿ト雖モ臨時試験ヲ施行シ經理局

長ノ認可ヲ請ケテ卒業證書ヲ附與スルコトヲ得  
 前項ノ者ハ時宜ニ依リ第二十五條ノ學期中教員ノ助手ニ充ツルコトヲ得  
 第三十四條 第三十一條第三十二條ニ該ル者アルトキハ校長ハ事由ヲ悉シ經理局長ニ  
 上申シ其認可ヲ請クヘシ

附則

第三十五條 明治二十三年勅令第二百六十五號陸軍經理學校條例同年勅令第三十號陸  
 軍被服工長學舍條例ハ本條例施行ノ日ヨリ廢止ス但明治二十九年三月三十一日以前  
 入校及入舍ノ監督講習生軍吏學生及工長學生ニハ從前ノ規定ヲ適用ス

第三十六條 各學生及生徒ノ修學期ハ補充上ノ都合ニ依リ當分ノ内短縮スルコトヲ得

勅令第二百三十一號 明治三十一年十月一日

陸軍野戰砲兵射擊學校條例

第一條 陸軍野戰砲兵射擊學校ハ學生ニ野戰砲兵ノ射擊及戰術ノ訓練ヲナシ以テ各隊  
 教育ノ進歩ヲ圖リ常ニ射擊及戰術ノ調査研究ヲ爲シ且野戰砲兵材料ノ研究並試驗ヲ  
 行フ所トス

第二條 學生ヲ分テ左ノ二種トス

甲種 各野戰砲兵隊ヨリ分遣スル大中尉學生

乙種 砲工學校卒業ノ上入校スル中少尉學生

第三條 前條ノ外時トシテ佐官ヲ召集シ所要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得但修學期日  
 ハ其時時教育總監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第四條 學生ノ訓練ニ供シ且諸般ノ研究ニ充ツル爲メ本校ニ教導大隊ヲ置キ野戰砲兵  
 隊ヨリ下士兵卒ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第五條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 大中佐

陸軍野戰砲兵射擊學校條例



副官 大中尉

教官 中少佐 大中尉

教導大隊長 中少佐

教導大隊副官 中尉

同 中隊長 大尉

同 大隊附 中尉

軍醫

獸醫

准士官下士判任文官

第六條 校長ハ野戰砲兵監ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進步ノ責ニ任ス

第七條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル

第八條 教官ハ各學術科ノ授業ヲ分擔シ且野戰砲兵ニ關スル學術材料ノ調査研究及試驗ニ任ス

第九條 教導大隊ノ大隊長以下ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ適用ス

第十條 學生ノ修學期ハ左ノ如シ

甲種學生ハ概三箇月トシ毎年二回ニ分テ入校セシム

乙種學生ハ概二箇月トシ甲種學生ノ修學期中ニ併セテ入校セシム

第十一條 學生ノ人員及入校期日ハ其時時教育總監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス但砲工學校卒業ノ上直ニ入校スル學生ニ在リテハ教育總監之ヲ命ス

第十二條 學生分遣ノ告發アレハ師團長ハ隊長ヲシテ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期

二十日前ニ其兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘテ野戰砲兵射擊學校長ニ送達セシムヘシ

第十三條 學生ハ校外ニ居住セシメ修學ニ所要ノ兵器彈藥馬匹馬具書籍器具ハ貸與スルコトヲ得

第十四條 學生中ノ願屆其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第十五條 學生ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サスト雖モ疾病及其他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其事由ヲ具シ野戰砲兵監ノ認可ヲ受ケ退校セシム

第十六條 校長ハ修學期末ニ於テ各教官ヲ集メ會議ヲ開キ學生修學ノ成績ヲ調査シ野戰砲兵監ノ認可ヲ受ケ修得證明書ヲ作り署名捺印シ師團長ヲ經テ本人所屬ノ隊長ニ

送付シ學生ヲ歸隊セシム

第十七條 教導大隊へ分遣ノ下士ハ現役者ニ箇年以上ノ期アル者兵卒ハ前年十二月入營ノ者中ヨリ選拔セシム

第十八條 教導大隊へ分遣ノ下士兵卒ハ所屬隊ヨリ其武器被服裝具ヲ携行セシメ分遣中ハ特別ノ徽章ヲ附セシム

第十九條 教官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトアルヘシ

朕陸軍要塞砲兵射擊學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年十月二日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第二百三十二號

陸軍要塞砲兵射擊學校條例

第一條 陸軍要塞砲兵射擊學校ハ學生ニ要塞砲兵ノ射撃及戰術ノ訓練ヲ爲シ以テ各隊教育ノ進歩ヲ圖リ常ニ射撃及戰術ノ調査研究ヲ爲シ且要塞砲兵材料ノ研究並試驗ヲ行フ所トス

第二條 學生ヲ分テ左ノ二種トス

甲種 各要塞砲兵隊ヨリ分遣スル大中尉學生

乙種 砲工學校卒業ノ上入校スル中少尉學生

第三條 前條ノ外時トシテ佐官ヲ召集シ所要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得但修學期日ハ其時時教育總監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第四條 學生ノ訓練ニ供シ且諸般ノ研究ニ充ツル爲メ本校ニ教導大隊ヲ置キ要塞砲兵

陸軍要塞砲兵射擊學校條例

隊ヨリ下士兵卒ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第五條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

副官

教官

教導大隊長

教導大隊副官

教導大隊中隊長

教導大隊附

軍醫

軍吏

准士官、下士、判任文官

第六條 校長ハ要塞砲兵官ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第七條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル

第八條 教官ハ學生學術科ノ授業ヲ分擔シ且要塞砲兵ニ關スル學術、材料ノ調査研究及試験ニ任ス

第九條 教導大隊ノ大隊長以下ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ適用ス

第十條 學生ノ修學期左ノ如シ

甲種 學生ハ概テ三箇月トシ毎年二回ニ分テ入校セシム

乙種 學生ハ概テ二箇月トシ毎年一回ニ入校セシム

第十一條 學生ノ人員及入校期日ハ其時時教育總監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス但砲工學校卒業ノ上直ニ入校スル學生ニ在テハ教育總監之ヲ命ス

第十二條 學生分遣ノ告達アレハ師團長ハ隊長ヲシテ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期二十日前ニ其兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘテ要塞砲兵射擊學校長ニ送達セシム

第十三條 學生ハ校外ニ居住セシメ修學ニ所要ノ兵器、彈藥、書籍、器具ハ貸與スルコトヲ得

第十四條 學生中ノ願届其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第十五條 學生ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サスト雖トモ疾病及其他ノ事故ニ依リ學術

陸軍要塞砲兵射擊學校條例

修得ノ目途ナキ者ハ校長其事由ヲ具シ要塞砲兵監ノ認可ヲ請ケ退校セシム  
第十六條 校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ各教官ヲ集メ會議ヲ開キ學生修學ノ成績ヲ調  
査シ要塞砲兵監ノ認可ヲ請ケ修得證明書ヲ作り署名捺印シ師團長ヲ經テ本人所屬ノ  
隊長ニ送付シ學生ヲ歸隊セシム

第十七條 教導中隊ハ分遣ノ下士ハ現役尙二箇年以上ノ期アル者兵卒ハ前年十二月入  
營ノ者中ヨリ選拔スヘシ

第十八條 教導大隊ハ分遣ノ下士兵卒ハ所屬隊ヨリ其武器、被服、裝具ヲ携行セシメ分  
遣中ハ特別ノ徽章ヲ附セシム

第十九條 教官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトアルヘシ

附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ施行ス

勅令第二百三十號 明治三十一年十月一日

陸軍騎兵實施學校條例

第一條 陸軍騎兵實施學校ハ學生ニ戰術及馬術ノ訓練ヲ爲シ以テ各隊教育進歩ヲ圖リ  
常ニ諸科學術ノ調査研究ヲ爲シ且乘馬具及馬匹器具ノ研究並試驗ヲ行フ所トス

第二條 學生ヲ分テ左ノ二種トス

一 戰術科學生ハ騎兵大中尉ヲ以テ之ニ充ツ但時トシテ少尉ヲ以テ學生ト爲スコト  
アルヘシ

二 馬術科學生ハ騎兵中少尉及下士ヲ以テ之ニ充ツ但時トシテ野戰砲兵輜重兵士官  
及下士ヲ以テ學生ト爲スコトアルヘシ

第三條 戰術研究ノ爲メ時トシテ佐官ヲ召集スルコトヲ得但修學期日ハ其時時教育總  
監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第四條 學生ノ訓練ニ供シ且諸般ノ研究ニ充ツル爲メ本校ニ教導中隊ヲ置キ騎兵隊ヨ  
リ下士兵卒ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第五條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

陸軍騎兵實施學校條例

校長 大中佐  
 副官 大中尉  
 教官 中少佐 大中尉 獸醫  
 教導中隊長 大尉  
 同 中隊附 中尉  
 廐長 大尉  
 調馬手長 中尉  
 軍醫  
 獸醫  
 軍吏  
 准士官下士判任文官  
 第六條 校長ハ騎兵監ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス  
 第七條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル  
 第八條 教官ハ戰術及馬術科學術ノ授業ヲ分擔シ且其各科ニ於ケル學術ノ調査研究並

乘馬具及馬匹器具ノ研究及試験ニ任シ高級故參ノ教官ヲ以テ各科ノ科長トス  
 第九條 廐長ハ校廐一切ノ事ヲ統ヘ馬匹ノ調教ニ任ス  
 第十條 調馬手長ハ廐長ニ隸シ馬匹ノ調教ヲ掌ル  
 第十一條 教導中隊ノ中隊長以下ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス  
 第十二條 學生ノ修學期ハ各科トモ概テ十一箇月トス  
 第十三條 學生ノ人員及入校期日ハ其時時教育總監ノ移牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス  
 第十四條 學生分遣ノ告達アレハ師團長ハ隊長ヲシテ各科ノ修學ニ適當者ヲ選定シ入  
 校期二十日前ニ其兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘテ騎兵實施學校長ニ送達セシムヘシ  
 第十五條 學生士官ハ校外ニ下士ハ校内ニ居住セシメ修學ニ所要ノ兵器馬匹馬具書籍  
 器具ハ貸與スルコトヲ得但下士學生ハ所屬隊ヨリ其武器被服裝具ヲ携帯セシム  
 第十六條 學生中ノ願屆其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス  
 第十七條 學生ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サスト雖モ疾病其他ノ事故ニ依リ學術修得  
 ノ目途ナキ者ハ校長其事由ヲ具シ騎兵監ノ認可ヲ受ケテ退校セシム  
 第十八條 校長ハ修學期末ニ於テ各教官ヲ集メ會議ヲ開キ學生修學ノ成績ヲ調査シ騎

兵監ノ認可ヲ受ケ士官ニ在テハ修得證明書ヲ作り署名捺印シ下士ニ在テハ考科列序表ヲ製シ師團長ヲ經テ本人所屬ノ隊長ニ送付シ又下士ニハ更ニ學術修業ノ證書ヲ附與シ學生ヲ歸隊セシム

第十九條 教導中隊ニ分遣ノ下士ハ現役者ニ箇年以上ノ期アル者兵卒ハ前年十二月入營ノ者中ヨリ選抜スヘシ

第二十條 教導中隊ヘ分遣ノ下士兵卒ハ所屬隊ヨリ其武器馬具被服裝具ヲ携行セシメ分遣中ハ特別ノ徽章ヲ附セシム

第二十一條 教官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊付勤務ヲ爲サシムルコトアルヘシ  
附則

第二十二條 當分ノ内必要ニ應シ學生ノ修學期ヲ短縮シ及戰術科學生ヲ一箇年二回召集スルコトヲ得

第二十三條 陸軍乘馬學校條例ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

朕陸軍砲兵工科學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年十月二十七日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第四百三十一號

陸軍砲兵工科學校條例

第一條 陸軍砲兵工科學校ハ東京砲兵工廠ニ置キ同廠提理ノ管理ニ屬シ火工學生ニ火工術ヲ教授シ砲兵工長候補生ニ較工銃工木工鍛工長タルニ必要ナル教育ヲ爲ス所トス

第二條 火工學生ハ砲兵隊長期下士中ヨリ分遣シ砲兵工長候補生ハ陸海軍豫備役後備役ニ在ラサルモノ及各兵科初年兵ニシテ召募試験ニ及第シタル者ヨリ採用ス

砲兵工長候補生中兵卒ヨリ採用分遣セシモノヲ砲兵工長候補學生其他ヨリ採用セシモノヲ砲兵工長候補生徒ト稱ス

第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク  
校長 砲兵少佐

陸軍砲兵工科學校條例

學校附 砲兵大中尉

軍醫

軍吏

第四條 前條ニ掲クル職員ノ外砲兵科衛生部軍吏部下士及陸軍助教ヲ置ク

第五條 校長ハ東京砲兵工廠提理ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第六條 學校附砲兵大中尉ハ訓育及學術ノ教授ニ任シ日常學生生徒ノ躬行ヲ監視シ分

擔ノ教育ニ就テハ擔保ノ責ニ任ス

助教ハ圖書等ノ教授ヲ擔任ス

第七條 學期ハ火工學生ニ在テハ概テ一箇年砲兵工長候補生ニ在テハ概テ二箇年トス

第八條 火工學生及砲兵工長候補生各工科専門ノ實業ハ東京砲兵工廠ニ於テ之ヲ教授

ス學校ノ内務ハ概テ軍隊内務ノ規定ニ依ル

第九條 火工學生及砲兵工長候補生ノ人員ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十條 火工學生分遣ノ告達アレハ師團長ハ砲兵隊長ヲシテ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ

入校期十日前ニ其兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘ提理東京砲兵工廠提理以下之ニ倣フニ送達セシムヘシ

第十一條 砲兵工長候補學生ヲ命セラレタルモノモ亦前條ニ準シ其兵籍寫ヲ提理ニ送達スヘシ

第十二條 火工學生及砲兵工長候補學生ハ校内ニ居住セシメ修學ニ所用ノ書籍器具機械雜具消耗品並修業用ノ原料ハ學校ヨリ貸與又ハ支給スルモノトス但武器被服裝具ハ所屬隊ヨリ携行セシム

第十三條 砲兵工長候補生徒ニ關スル一切ノ費用ハ官給トシ且手當金ヲ給ス

第十四條 火工學生及砲兵工長候補學生分遣入校中願屆等ニ關スル諸件ハ總テ提理ノ

管理ニ屬ス

第十五條 火工學生及砲兵工長候補生ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サス

第十六條 學期末ニ於テ終末試験ヲ施行シ及第スル者ニハ卒業證書ヲ附與シ火工學生

ニ在テハ原隊ニ復歸ヲ命シ其試験成績ヲ提理ヨリ師團長ヲ經テ當該砲兵隊長ニ移ス

第十七條 火工學生及砲兵工長候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ學生若ク

ハ工長候補生ヲ免ス

一 學術ノ修得全カラス卒業ノ目途ナキ者

陸軍砲兵工科學校條例

- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若クハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 三 傷痍疾病ニ依リ卒業ノ目途ナキ者
- 四 卒業試験ニ落第シタル者

第十八條 前條各項ノ一ニ該ルモノアルトキハ學校長其事由ヲ悉シ提理ニ具狀シ認可ヲ受ケ之ヲ處分ス

第十九條 火工學生及砲兵工長候補生中傷痍疾病其他ノ事故ニ依リ終末試験ヲ受ケサルモ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ受験セシムルコトヲ得又第十七條第四項ニ該ルモノニシテ尙望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲シ卒業セシムルコトヲ得

附則

本令施行前入校ノ生徒ハ總テ砲兵工長候補生徒ト爲シ尙ホ卒業ノ目途ナキ者ニ就テハ舊條例第十五條ノ規定ニ依ル

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ施行ス

朕陸軍軍醫學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年五月九日

陸軍大臣侯爵大山 巖

勅令第百九十四號

陸軍軍醫學校條例

第一條 陸軍軍醫學校ハ學生ノ練習、生徒ノ敎成衛生部ニ關スル敎科用書ノ編修若クハ撰擇及兵衣、兵食、兵營、兵器等ノ軍陣衛生ニ關スル試験ヲ行フ所トス

第二條 學生ハ各部隊附ノ衛生部士官ヲ分遣シテ之ニ充テ其特科ヲ練習セシム但シ時宜ニ依リ三等軍醫正ニ練習ヲ命スルコトアルヘシ

第三條 生徒ハ醫術開業免狀又ハ藥劑師免狀ヲ所持シ衛生部現役士官ニ出身志願ノ者ヲ選抜シテ採用ス

第四條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長 一、二等軍醫正
- 副官 一等軍醫

陸軍軍醫學校條例



## 教官

## 衛生部上長官、士官

- 第五條 校長ハ陸軍省醫務局長ニ隸シ校務ヲ掌理シ第一條ノ事項ニ關シテ其責ニ任ス
- 第六條 副官ハ校中ノ庶務ヲ掌リ其下ニ陸軍屬ヲ置ク
- 第七條 教官ハ各専門學科ノ教授ニ任シ兼テ第一條ノ事項ヲ分擔ス
- 第八條 學生ノ練習期ハ四箇月以内トシ生徒ノ教成期ハ一箇年以内トス
- 第九條 學生及生徒ノ人員入校時日並生徒採用ニ關スル規定ハ陸軍大臣之ヲ定メテ告達ス
- 第十條 學生分遣ノ告達アレハ師團軍醫部長ハ入校期十日以前ニ本人ノ兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘ軍醫學校長ニ送達スルモノトス
- 第十一條 學生及生徒ハ校外ニ居住セシメ其科業ニ關シ所要ノ書籍、器具、消耗品ハ貸與又ハ支給スルコトアルヘシ
- 第十二條 學生ノ名籍ハ原所管ヲ離ルルコトナシト雖モ分遣中ノ願屆其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス
- 第十三條 學生ノ練習ヲ終ルトキハ校長ハ原所管ニ復歸ヲ命シ練習中ノ成績ヲ醫務局長ニ報告シ且所管ノ師團軍醫部長ニ之ヲ通知ス

長ニ報告シ且所管ノ師團軍醫部長ニ之ヲ通知ス

第十四條 生徒ノ教成ヲ終ルトキハ校長ハ卒業試験ヲ行ヒ其成績ニ據リ列序ヲ定メ考科表ヲ製シテ醫務局長ニ進達シ其認可ヲ請ケ卒業證書ヲ付與ス

第十五條 學生及生徒ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退校スルヲ許サス

第十六條 學生中疾病又ハ其他ノ事故ニ依リ練習ヲ終ルノ目途ナキ者ハ原所管ニ復歸セシム

第十七條 生徒中左ノ事項ノ一ニ該タル者ハ退校セシム

其一 學力乏クシテ卒業ノ目途ナキ者

其二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

其三 品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

其四 疾病ニ依リ卒業ノ目途ナキ者

其五 卒業試験ニ落第セシ者

第十八條 第十六條第十七條ニ該タル者アルトキハ校長其事由ヲ悉シ醫務局長ニ上申シ其認可ヲ請ケ復歸若クハ退校ヲ命ス

第十九條 現役豫備役後備役ニ在ル者ニシテ生徒トナリタル者前條ノ處分ヲ受ケタルトキハ原所管ニ復歸セシメ前役ヲ通算入校中ノ日シテ現役豫備役後備役ニ編入ス

朕陸軍獸醫學校條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年十月二十七日

陸軍大臣子爵桂 太郎

勅令第四百二十號

陸軍獸醫學校條例

第一條 陸軍獸醫學校ハ學生ニ各専門ノ學術ヲ練習セシメ常ニ獸醫及蹄鐵ニ關スル學術ノ調査研究ヲ爲シ軍馬衛生ニ關スル試驗ヲ行ヒ且蹄鐵工長候補生ニ蹄鐵工長タルニ必要ノ教育ヲ爲ス所トス  
第二條 學生ハ獸醫部士官及隊附騎兵、砲兵、輜重兵蹄鐵工長、候補生ハ騎兵、野戰砲兵、輜重兵隊ヨリ分遣スル蹄鐵工長候補生ヲ以テ之ニ充ツ  
第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長 騎兵大中佐
- 副官 騎兵大中尉
- 教官 獸醫監 騎兵大尉
- 一等獸醫 騎兵中尉

陸軍獸醫學校條例

軍醫

軍吏

下士、判任文官

第四條 校長、教官ノ内騎兵中尉及軍醫、軍吏ハ他ニ本職アル者ヲ以テ兼補ス

第五條 校長ハ陸軍省軍務局長ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第六條 副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル

第七條 教官ハ學術ノ教授及其調査研究ヲ分擔シ軍馬ノ衛生ニ關スル試験ニ從事ス

第八條 學期ハ概テ學生士官ニ在テハ五箇月、同下士ニ在テハ三箇月、候補生ニ在テハ九箇月トス

第九條 學生、候補生ノ人員及入校時日ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十條 學生、候補生分遣ノ告達アレハ師團長ハ學生士官ニ在テハ獸醫部長、同下士

ニ在テハ當該隊長ヲシテ選定セシメ入校期日十日前迄ニ學生士官ニ在テハ兵籍寫、

同下士及候補生ニ在テハ兵籍寫及考科表寫ヲ校長ニ送達セシム

第十一條 學生士官ハ校外ニ同下士及候補生ハ校内ニ居住セシム但營外居住ノ下士ニ

在テハ校外トス

第十二條 學用品ハ學生士官ニ在テハ自辨トシ同下士及候補生ニハ之ヲ貸與又ハ支給

ス但學生士官ト雖モ科業ノ種類ニ依リ之ヲ貸與又ハ支給スルコトアルベシ

學生下士、候補生ニ在テハ武器被服及裝具ヲ其所屬隊ヨリ携行セシム

第十三條 學生、候補生ノ願届其他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第十四條 學生、候補生ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退校スルヲ得ス

第十五條 學生、候補生中左ノ事項ニ該ル者ハ校長其事由ヲ具シ軍務局長ノ認可ヲ請

テ退校歸隊セシム但候補生徒ニ在テハ豫メ所屬隊長ニ通報シ退校ト同時ニ除隊ノ處

分ニ附スルコトアリ

其一、學術ノ修得全カラス卒業ノ目途ナキ者

其二、軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

其三、品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

其四、傷痍疾病ニ依リ卒業ノ目途ナキ者

其五、終末試験ニ落第セシ者

陸軍獸醫學校條例

候補生ニ在テ傷疾疾病其他ノ事故ニ依リ終末試験ヲ受ケサルモ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ受験セシムルコトヲ得又終末試験ニ落第スルモ尙望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲シ卒業セシムルコトヲ得

第十六條 校長ハ學期末ニ於テ學生ニ在テハ教官會議ヲ開キ其成績ヲ審査シテ修得證明書ヲ附與シ候補生ニ在テハ終末試験ヲ施行シ及第者ニハ卒業證書ヲ附與ス學生及候補生修學ヲ終レハ校長ハ原所管ニ復歸ヲ命シ且其成績ヲ軍務局長ニ報告シ所屬長及所管師團獸醫部長ニ通知ス

第十七條 授業上所要ノ馬匹ハ陸軍騎兵實施學校飼養ノモノヲ以テ之ニ充ツ時宜ニ依リ他ノ學校及軍隊飼養ノ馬匹ヲモ之ニ充ツルコトヲ得  
將校及同相當官飼養ノ馬匹ハ本人ノ希望ニ依リ前項ノ所要ニ供スルコトヲ得

附則

第十八條 現在ノ陸軍獸醫學校生徒ニ關シテハ本令施行ノ後ト雖モ尙ホ從前ノ規定ニ依ル

朕陸軍補充條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
御名 御璽

明治二十九年十二月一日

陸軍大臣子爵高島綱之助

勅令第三百七十九號

陸軍補充條例

第一章 總則

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第二款 監督部士官

第三款 衛生部士官

第四款 獸醫部士官

第五款 軍吏部士官

第三章 豫備役後備役將校並ニ同相當官ノ補充

第四章 現役下士ノ補充

陸軍補充條例

- 第一款 憲兵科下士
  - 第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科下士諸工長ヲ除ク
  - 第三款 砲兵諸工長
  - 第四款 歸鐵工長
  - 第五款 衛生部下士
  - 第六款 軍吏部下士
  - 第七款 軍樂部下士
- 第五章 豫備役後備役下士ノ補充
- 第一款 各兵科下士
  - 第二款 衛生部下士
  - 第三款 軍吏部下士
  - 第六章 現役上等兵ノ補充
  - 第一款 憲兵科上等兵
  - 第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科上等兵

- 第七章 現役看護手ノ補充
- 第八章 現役樂手補ノ補充
- 第九章 特別補充
- 第十章 雜則

附則

陸軍補充條例

第一章 總則

- 第一條 本條例ハ陸軍將校、同相當官、下士、上等兵、看護手、樂手補ヲ補充スルノ方法ヲ規定ス
- 第二條 凡ソ將校、同相當官並ニ下士ノ缺員ヲ補充スルハ本條例ニ依ルノ外陸軍武官進級令及陸軍豫備後備武官進級令ニ依ル
- 第三條 將校、同相當官及下士ノ轉職ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第四條 本條例ニ於テ單ニ隊長ト稱スルハ聯隊長、獨立隊長、警備隊司令官ヲ謂フ又聯隊長ト稱スルトキハ警備隊司令官獨立隊長ヲ包含ス

陸軍補充條例

本條例ニ於テ大隊長ト稱スルトキハ騎兵聯隊長、警備隊司令官、獨立隊長ヲ包含ス  
第五條 本條例ニ於テ實役停年ヲ算スルハ七月一日ヲ以テス

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第六條 歩、騎、砲、工、輜重兵科現役士官ノ補充ハ士官候補生ニシテ少尉ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

憲兵科士官ハ他兵科ノ士官ヨリ轉科セシム

第七條 士官候補生ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ但准士官下士兵卒一年志願兵ニアラサル者及陸軍諸生徒ハ採用ノ限ニアラス

- 一 中央幼年學校生徒ニシテ卒業試験ニ及第シタル者
- 二 官立、府縣立中學校若クハ文部大臣ノ指定シタル中學校ヲ卒業シ該校長ノ保證並ニ入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得タル者
- 三 本條第二ニ掲クル中學校卒業者ト同等ノ學力ヲ有シ入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得召募試験ニ及第シタル者

第八條 士官候補生ニ採用スヘキ人員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

第九條 士官候補生召募ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十條 教育總監ハ士官候補生ニ採用スヘキ者ヲ裁定シ之ニ士官候補生ヲ命シ各兵隊入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得タル者ハ其ノ隊ニ配賦シ且ツ之ヲ師團長ニ達ス

士官候補生ニハ士官學校分遣前概于一箇年中央幼年學校出身該隊ニ在テ下士兵卒ノ勤務雜役ヲ除ク及軍事學ヲ習得セシム

第十一條 一年志願兵ヨリ士官候補生ニ採用スル者ハ之ヲ命スルノ日其服役ヲ免ス

第十二條 中央幼年學校出身ノ士官候補生ヲ各兵隊ニ配賦スルニハ左ノ四項ヲ願慮ス

ヘシ

- 一 本人ノ冀望
- 二 軍隊ノ必要
- 三 學術優等者ノ平均

四 砲兵隊、工兵隊、鐵道隊ニハ數學優等者

第十三條 士官候補生入隊ノ上ハ隊長ハ其中隊ヲ選ヒ之ニ編入シ該中隊長ヲシテ訓育ヲ掌リ諸勤務ノ訓練ニ任セシム

第十四條 士官候補生軍事學ノ教授ハ、隊長、部下大尉若クハ中尉ヲシテ之ニ任セシム

第十五條 隊長ハ士官候補生ノ教育ニ就キ總テ其ノ責ニ任ス

第十六條 士官候補生中央幼年學校出身ノ者ハ入隊ノ後直ニ上等兵ノ階級ヲ與ヘ二箇月ノ後ハ伍長ノ階級ニ進メ其ノ他ノ者ハ入隊ノ後直ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘ六箇月ノ後ハ上等兵ノ階級ニ入箇月ノ後ハ伍長ノ階級ニ進メ共ニ士官學校ニ分遣ノ際軍曹ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若クハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テスヘシ

第十七條 士官候補生諸勤務ノ訓練ヲ終レハ之ニ任シタル中隊長ハ士官候補生諸勤務ヲ習得シタル保證書又軍事學ノ教授ニ任シタル士官ハ其ノ教授成績ノ報告書ヲ隊長ニ進達シ隊長ハ之ヲ審閱シ更ニ教育ノ完全ナルコトヲ確認シ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊長ハ旅團長

ヲ經ニ上申ス師團長ハ各兵科士官候補生ノ連名簿ヲ製シ之ニ隊長ヨリ出ス所ノ書類ヲ添ヘ教育總監ニ進達スヘシ

第十八條 教育總監ハ前條ノ書類ニ依リ士官候補生ノ士官學校ニ入校セシムヘキ者ヲ定メ之ヲ師團長ニ達ス師團長ハ隊長ヲシテ本人ニ入校ヲ命セシム

第十九條 士官候補生士官學校ノ修學ヲ終リ卒業試験ニ及第シ歸隊シタルトキハ隊長之ニ見習士官ヲ命シ中隊ニ於テ六箇月以上士官ノ勤務ヲ習得セシム見習士官ヲ命セラレタル士官候補生ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第二十條 見習士官ノ教育ハ隊長自ラ其責ニ任シ特ニ諸種ノ演習等精密且著實ニ實施セシメ以テ其ノ學力ヲ實際ニ應用進歩セシムルコトヲ努ムヘシ

第二十一條 見習士官ヲ將校ニ選舉スルニハ隊長先ツ中隊長ヨリ本人ノ教育完全ニシテ將校タルヲ得ヘキ保證書ヲ得尙ホ隊長自ラ是認シタル後始メテ該隊ノ將校會議ニ附ス

第二十二條 將校會議ハ見習士官ヲ將校ト爲スノ可否ヲ議決スルモノトス

各將校ハ可否ノ答ヲ自ラ選舉報告書ニ記入シ自己ノ姓名ヲ署スヘシ但シ見習士官所屬ノ中隊長ニシテ保證書ヲ差出シタル者ハ選舉報告ヲ爲スノ限ニアラス

第二十三條 將校會議ニ於テ將校ノ答皆可ナル者ニ就テハ隊長其ノ選舉報告書ヲ一表ト爲シテ選舉報告表ヲ作り之ニ順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ少尉ノ資格ヲ備フルコトヲ師團長 旅團長ノ下ニ在ル隊ニ上申ス師團長ハ之ヲ教育總監ニ進達シ教育總監ハ之ヲ取纏メ意見ヲ付シテ陸軍大臣ニ移ス若シ可答多數ナルモ幾分ノ否答アル者ニ就テハ其ノ理由ヲ選舉報告表ニ記入シテ上申スルコト前項ニ同シ  
之ニ反シ否答多數ナル者ニ就テハ選舉報告表ヲ添ヘ否決ノ理由ヲ上申ス但シ其ノ手續ハ本條例第二十七條ニ依ル

第二十四條 士官候補生諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス若クハ疾病ノ爲メ士官學校ヘ分遣シ得サル者又ハ士官學校分遣中卒業ノ前途ナク若クハ卒業試験ニ落第シ退校歸隊セシ者ニシテ尙ホ望ミアル者ハ一回限リ次ノ入校期マテ所屬隊ニ止マラシムルコトヲ得但シ隊長ハ其ノ事由ヲ悉シ師團長 旅團長ノ下ニ在ル隊ニ上申シ其ノ認可ヲ請クヘシ師團長ハ狀ヲ具シ教育總監ニ進達ス

第二十五條 前條ニ該ル者ノ士官學校入校手續ハ本條例第十七條及第十八條ニ依ル

第二十六條 士官候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ士官候補生ヲ免シ第一乃至第七ニ該ル者ハ其階級ニ應シ本官ニ任シ又ハ兵卒下爲シ豫備役ニ編入ス

- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若クハ品行不正ニシテ改悛ノ前途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ士官候補生タルニ適セサル者
- 三 將校タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 士官候補生タルヲ得ヘカラスト認めラレタル者
- 五 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス若クハ疾病ノ爲メ士官學校ヘ分遣シ得サル者  
本條例第二十四條ニ該ル者ヲ除ク 又ハ疾病若クハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者
- 六 士官學校條例ノ規程ニ依リ退校歸隊シテ後來望ミナキ者
- 七 將校會議ニ於テ否決シタル者
- 八 疾病若クハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第二十七條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊長其事由ヲ悉シテ師團長 旅團長ノ下ニ在ル隊長ハ旅團長ニ上申ス師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ隊長ヲシテ處長ヲ經テ



分セシム

第二款 監督部士官

第二十八條 監督部現役士官ノ補充ハ現役各兵科大中尉又ハ一二等軍吏ニシテ經理學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テス

第二十九條 前條ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ所要ニ應シ終末試験成績ノ列序ニ從ヒ陸軍監督補ニ任ス

卒業證書ヲ所持スル者ハ監督補ニ任セララル迄願ニ依リ本職ノ儘在職地所管監督部ニ於テ實務ヲ見學スルコトヲ得但シ其ノ旅費ハ自辨トス

第三款 衛生部士官

第三十條 衛生部現役士官ノ補充ハ見習醫官、見習藥劑官ニシテ衛生部士官ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第三十一條 見習醫官、見習藥劑官ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ

- 一 帝國大學醫科大學學生ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選拔シテ陸軍衛生部依託學生ト爲シ同學ノ課程ヲ卒ヘタル者

二 高等學校醫學部若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認めタル府縣立醫學校ノ生徒ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選拔シテ陸軍衛生部依託生徒ト爲シ同學校ノ課程ヲ卒ヘタル者

三 軍醫學校生徒ニシテ卒業試験ニ及第シタル者

第三十二條 見習醫官、見習藥劑官ハ陸軍省醫務局長之ヲ命シ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦シ該隊並ニ衛戍病院ニ於テ四箇月以上衛生部士官ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ醫務局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ

第三十三條 見習醫官、見習藥劑官ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第三十四條 見習醫官ノ教育ハ歩兵隊ノ高級醫官、見習藥劑官ノ教育ハ衛戍病院長其ノ責ニ任シ當該師團軍醫部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第三十五條 見習醫官、見習藥劑官士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ師團軍醫部長先ツ該隊高級醫官若クハ衛戍病院長ヨリ本人ノ學術及勤務等衛生部士官タルヲ得ヘキ保證書又隊長ヨリ勤務品行等ニ關スル證明書ヲ得尙ホ軍醫部長自ラ是認シタル後衛生部士

官選舉會議ニ附ス

第三十六條 衛生部士官選舉會議ハ師團軍醫部ニ之ヲ開キ議長ハ軍醫部長、議員ハ所在地一等軍醫、一等藥劑官以上ノ者トス其ノ可否ノ意見ハ選舉報告書ニ記入シ自己ノ姓名ヲ署スヘシ但シ前條ノ保證書ヲ差出シタル者ハ選舉報告ヲ爲スノ限ニアラス

第三十七條 選舉會議ニ於テ議員ノ答皆可ナル者ニ就テハ軍醫部長其ノ選舉報告書ヲ一表ト爲シテ選舉報告表ヲ作り之ニ順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ衛生部士官タル資格ヲ備フルコトヲ陸軍省醫務局長ニ上申ス醫務局長ハ之ヲ審査シ帝國大學醫科大學ノ課程ヲ卒ヘタル者ハ陸軍二等軍醫、陸軍二等藥劑官ニ其他ノ者ニ在テハ陸軍三等軍醫、陸軍三等藥劑官ニ任用ノコトヲ陸軍大臣ニ上申ス

若シ可答多數ナルモ幾分ノ否答アル者ニ就テハ其ノ理由ヲ選舉報告表ニ記入シテ上申スルコト前項ニ同シ

之ニ反シ否答多數ナル者ニ就テハ選舉報告表ヲ添ヘ否決ノ理由ヲ上申ス但シ其ノ手續ハ本條例第三十九條ニ依ル

第三十八條 見習醫官、見習藥劑官ニシテ左ニ掲ケル事項ノ一ニ該ル者ハ見習醫官、

見習藥劑官ヲ免シ第一乃至第六ニ該ル者ハ一等看護長ニ任シ豫備役ニ編入ス

- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢々法則ヲ犯シ若クハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
  - 二 學力乏シクシテ見習醫官、見習藥劑官ニ適セサル者
  - 三 士官タルノ才能ニ乏シキ者
  - 四 見習醫官、見習藥劑官タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者
  - 五 疾病若クハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者
  - 六 士官選舉會議ニ於テ否決シタル者
  - 七 疾病若クハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者
- 第三十九條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ見習醫官ハ隊附高級醫官、見習藥劑官ハ衛戍病院長ヨリ其事由ヲ悉シ師團軍醫部長 隊附高級醫官ニ上申シ軍醫部長ハ陸軍省醫務局長ニ醫務局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第四款 獸醫部士官

第四十條 獸醫部現役士官ノ補充ハ見習獸醫官ニシテ獸醫部士官ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第四十一條 見習獸醫官ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ

一 帝國大學農科大學獸醫學科學生ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選拔シテ陸軍獸醫部依託學生ト爲シ同學科ノ課程ヲ卒ヘタル者

二 帝國大學農科大學獸醫學科生徒ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選拔シテ陸軍獸醫部依託生徒トナシ同學實科ノ課程ヲ卒ヘタル者

第四十二條 見習獸醫官ハ陸軍省軍務局長之ヲ命シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ各師團ノ騎兵、野戰砲兵、輜重兵隊ニ配賦シ四箇月以上獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ軍務局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ

第四十三條 見習獸醫官ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第四十四條 見習獸醫官ノ教育ハ該隊高級獸醫其ノ責ニ任シ師團獸醫部長之ヲ監督ス但隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第四十五條 見習獸醫官士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ獸醫部長ハ先ツ該隊高級獸醫ヨリ本人ノ學術及勤務等獸醫部士官タルヲ得ヘキ保證書ヲ又隊長ヨリ勤務品行等ニ關スル證明書ヲ得テ審査ノ上獸醫部士官ノ資格ヲ備フルト認メタル者ニ付テ順序ヲ定メ

連名簿ヲ作り之ニ意見ヲ附シ保證書並ニ證明書ト共ニ陸軍省軍務局長ニ進達ス軍務局長ハ之ヲ審査シ帝國大學農科大學獸醫學科ノ課程ヲ卒ヘタル者ハ陸軍二等獸醫ニ同大學獸醫學實科ヲ卒ヘタル者ハ陸軍三等獸醫ニ任用ノコトヲ陸軍大臣ニ上申ス前項ノ審査ニ於テ否認シタル者ハ第四十七條ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

第四十六條 見習獸醫官ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ見習獸醫官ヲ免シ第一乃至第六ニ該ル者ハ一等蹄鐵工長ニ任シ豫備役ニ編入ス

一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢々法則ヲ犯シ若クハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

二 學力乏シクシテ見習獸醫官ニ適セサル者

三 士官タルノ才能ニ乏シキ者

四 見習獸醫官タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者

五 疾病若クハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 獸醫部士官ト爲ルヘキ資格ナシト認メラレタル者

七 疾病若クハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第四十七條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊附高級獸醫其事由ヲ悉シ隊長ヲ經

テ師團獸醫部長ニ上申シ獸醫部長ハ陸軍省軍務局長ニ軍務局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第五款 軍吏部士官

第四十八條 軍吏部現役士官ノ補充ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科特務曹長各兵科曹長軍吏部一等計手ニシテ經理學校卒業證書ヲ所持スル者及見習軍吏ニシテ三等軍吏ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第四十九條 前條ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ所要ニ應シ終末試験成績ノ列序ニ從ヒ陸軍三等軍吏ニ任ス

卒業證書ヲ所持スル者ハ三等軍吏ニ任セラルル迄所管監督部ニ於テ若クハ當該部隊ノ軍吏ニ附屬シ實務ヲ見學セシム

第五十條 見習軍吏ニ採用シ得ヘキ者ハ一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル軍吏生トス

第五十一條 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル軍吏生ニシテ現役軍吏志願ノ者ハ願書ヲ其ノ原所管ノ監督部長ニ差出スヘシ監督部長ハ之ヲ調査シ自己ノ意見書及

考科表ヲ添ヘ陸軍省經理局長ニ進達スヘシ

第五十二條 陸軍省經理局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ採用スヘキ者ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ見習軍吏ヲ命シ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦シ該隊ニ於テ六箇月以上軍吏ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ經理局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ

見習軍吏ヲ命セラレタル者ノ本官ハ入隊ノ日ヲ以テ之ヲ免ス

第五十三條 見習軍吏ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第五十四條 見習軍吏ノ教育ハ該隊高級軍吏其ノ責ニ任シ師團監督部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第五十五條 見習軍吏士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ隊長ハ高級軍吏ヨリ本人ノ學術、勤務、品行等軍吏部士官ニ適當ナルヤ否ノ證明書ヲ得之ニ自己ノ意見ヲ附シ師團監督部長ニ移ス監督部長ハ之ヲ審査シ三等軍吏ノ資格ヲ備フル者ト否ヲ分チ意見書ヲ添ヘ其ノ書類ヲ陸軍省經理局長ニ進達ス經理局長ハ該書類ヲ審査シ意見書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ上申スヘシ

第五十六條 見習軍吏ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ見習軍吏ヲ免シ第一乃至

第六ニ該ル者ハ一等計手ニ任シ豫備役ニ編入ス

- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若クハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ見習軍吏ニ適セサル者
- 三 士官タルノ才能ニ乏シキ者

四 見習軍吏タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者

五 疾病若クハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 三等軍吏ト爲ルヘキ資格ナシト認メラレタル者

七 疾病若クハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第五十七條

前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊附高級軍吏其ノ事由ヲ悉シ隊長ヲ經テ師團監督部長ニ上申シ監督部長ハ陸軍省經理局長ニ經理局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第三章

豫備役後備役將校並ニ同相當官ノ補充

第五十八條 豫備役將校同相當官ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 一年志願兵終末試験及第證書ヲ得テ豫備役ニ入リタル者

二 將校同相當官中現役定年限年滿ニ滿クヌシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入リタル者

三 豫備役准士官下士ニシテ士官ニ進級シタル者

第五十九條 前條第一ニ該ル者ヲ豫備役士官ト爲スヘキ爲メ現役ヲ終リタル次年ニ於テ尠クモ三箇月間原隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム但シ軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ノ勤務演習ハ他ノ部隊ニ於テスルコトヲ得

軍醫生、藥劑生及獸醫生ノ勤務演習ハ三箇月以内ニ短縮スルコトヲ得

第六十條 前條ノ勤務演習ハ本人ノ冀望ニ依リ他隊本籍地又ハ寄留地所在ノ隊ニ於テスルト其ノ期

ヲ翌年ニ延ハスト現役滿期ノ日ヨリ引續キ之ヲ爲ストハ師團長ノ許可ヲ請クヘキモノトス但シ他ノ師團ノ某隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サント欲スル者ハ師團長ヨリ他ノ師團長ニ照會スヘシ

第六十一條 第五十九條ノ勤務演習ノ期限ハ師團長之ヲ定ム

第六十二條 勤務演習ニ召集シタル者ハ其ノ演習ノ初ニ於テ隊長之ニ豫備役見習士官、

豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏ヲ命ス其身分取扱及教育ハ現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官又ハ現役見習軍吏ト同一トス

第六十三條 豫備役見習士官ハ勤務演習ノ終ニ於テ將校試験ヲ爲シ及第ノ者ヲ士官ニ選舉シ及任官ノコトヲ上申スルハ本條例第二十二條乃至第二十三條ノ例ニ依ル但シ將校試験ノ方法ハ師團長之ヲ定ム

豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官及豫備役見習軍吏ハ勤務演習ノ終ニ於テ學術ノ試験ヲ爲シ其ノ及第者ヲ豫備役士官ニ選舉シ及任官ノコトヲ上申スルハ本條例第三十五條乃至第三十七條第四十五條及第五十五條ノ例ニ依ル

第六十四條 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ師團長旅團長ノ下ニアル聯隊長ハ旅團長ヲ經テニ上申シ許可ヲ得テ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習

軍吏ヲ免シ第二乃至第七ニ該ルモノハ曹長又ハ同相當官ニ任ス

一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

二 學力乏クシテ豫備役士官ニ適セサル者

三 豫備役士官タルノ才能ニ乏シキ者

四 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者

五 疾病若ハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 前條ノ試験ニ落第シタル者

七 將校會議又ハ士官選舉會議ニ於テ否決シタル者ハ豫備役三等獸醫、豫備役三等軍吏タル資格ナシト認メラレタル者

八 疾病若ハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第六十五條 前條第五又ハ第六ニ該ル者ニシテ尙ホ豫備役士官タランコトヲ冀望スル者ハ翌年ノ勤務演習ニ召集スルコトヲ得

第六十六條 後備役將校同相當官ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

- 一 豫備役將校同相當官ヨリ後備役ニ入りタル者
- 二 將校同相當官ニシテ現役定限年齢ニ滿テ後備役ニ入りタル者
- 三 後備役准士官下士ニシテ士官ニ進級シタル者

第四章 現役下士ノ補充

第一款 憲兵科下士

第六十七條 憲兵科下士ノ補充ハ憲兵上等兵ニシテ二箇年以上憲兵ノ職務ニ服シ品行方正志操確實ナル者及歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士諸工長ヲ除ク以下 本款中之ニ同シ中入隊後六箇年以上現役ニ服シ品行方正志操確實ニシテ補充検査ニ合格シタル者ヲ以テス但シ歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士ニ在テハ爾後一箇年以上現役年期ヲ有シ憲兵ニ轉科志願ノ者ニ限ル

第六十八條 憲兵分隊長ハ部下上等兵ニシテ前條ニ該當スル者ヲ選拔シ技能ノ優劣ニ由リ順序ヲ定メタル人名書及品行證明書ヲ三月三十一日迄ニ憲兵隊長ニ進達シ憲兵隊長ハ之ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ各分隊ヲ通シテ順序ヲ定メ下士候補名簿ヲ製シ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ之ヲ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ各隊ノ缺員ニ應シ下士候補者ヲ伍長ニ任ス

下士候補者ヲ以テ缺員ヲ補フハ同隊ニ於テスルヲ例トス

憲兵司令官ハ補充上ノ必要ニ應シ甲隊ノ憲兵下士ヲ乙隊ニ轉セシムルコトヲ得

第六十九條 歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士ヨリ補充ヲ要スルトキハ憲兵司令官所要ノ人員ヲ陸軍大臣ニ上申シ陸軍大臣之ヲ告達ス但シ其ノ補充ハ補充ヲ要スル憲兵隊管區内ニ於テスルヲ例トス

第七十條 前條ノ告達アルトキハ師團長之ヲ各隊長旅團長ノ下ニ在ル隊ニ達シ各隊長ハ志願者ヲ取調ヘ適當ト認ムル者ノ人名書ニ考科表寫及品行證明書ヲ添ヘ師團長

旅團長ノ下ニ在ル隊長長ハ旅團長ヲ經テニ進達シ師團長ハ之ヲ憲兵司令官ニ送付スヘシ

第七十一條 憲兵司令官前條ノ書類ヲ受領スルトキハ其ノ書類ヲ添ヘ憲兵隊長ニ達シ補充検査ヲ行ハシム其ノ検査ニ合格ノ者ハ憲兵隊長其ノ優劣ニ依リ該憲兵隊管區内ヲ通シテ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ検査書類ヲ添ヘ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ之ヲ憲兵隊長ニ下ス憲兵隊長ハ所要ニ應シ候補名簿ノ順序ニ從ヒ其ノ階級ニ應シ憲兵下士ニ任ス

第七十二條 (削除)

第七十三條 憲兵下士補充檢査格例及合格規程ハ憲兵司令官之ヲ定メ師團長ニ通知ス

第七十四條 (削除)

第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科下士諸工長ヲ除ク

第七十五條 步、騎、砲、工、輜重兵科長期下士諸工長ヲ除クノ補充ハ各兵科下士候補生ニシテ卒業試験ニ及第シタル者ヲ以テシ短期下士ノ補充ハ上等兵ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役ニ服シ伍長タルノ技能ヲ備フル者警備隊ニ在テハ在營一箇年以上許サレヲ以テスニシテ現役期限滿ツル迄在營ヲタル者

屯田歩兵科ニ在テハ上等兵ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役ニ服シタル者及各師團ノ豫備役、後備役下士上等兵ニシテ屯田兵ト爲リタル者ヲ以テス

第七十六條 下士候補生ハ生徒及學生ニ分ツ之ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ

生徒 陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者

學生 各隊兵卒現役二箇年ヲ過キタル者ヲ除ク中品行方正志操確實ニシテ再服役ヲ冀望シ下士候補生タル技能ヲ有スル者

第七十七條 下士候補生ニハ各隊ニ於テ當該兵科ノ下士ニ必要ナル學術ヲ習修セシム其ノ修學期限ハ入隊ノ月ヨリ概テ二箇年トス

第七十八條 下士候補生中生徒ハ入隊ノ後直ニ二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ヲ經テ上等兵ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テスヘシ

第七十九條 下士候補生ヲ下士ニ任スルニハ聯隊長卒業試験ノ成績ニ依リ下士候補生卒業名簿ヲ製シ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ伍長ニ任シ各中隊ニ配賦ス

第八十條 中隊長ハ其ノ部下上等兵中短期下士ニ適當ノ者ヲ選拔シ其ノ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ十二月一日警備隊ニ在テハ十二月一日及六月一日、屯田兵ニ在テハ四月一日迄ニ之ヲ大隊長ニ進達スヘシ



各師團ノ豫備役、後備役下士上等兵ニシテ屯田兵ト爲リタル者ハ入隊後二箇月以内ニ於テ中隊長前項ノ例ニ依リ下士候補名簿ヲ製シ大隊長ニ進達スヘシ

第八十一條 大隊長ハ前條下士候補者ノ技能ヲ檢閲シ意見アレハ候補名簿ニ取捨ヲ加ヘ之ヲ聯隊長ニ進達スヘシ

第八十一條ノ二 聯隊長ハ前條ノ下士候補名簿ヲ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テ認可ヲ請ケ中隊ニ缺員アル毎ニ下士候補生ヲ伍長ニ任ス

第八十二條 下士候補者ヲ以テ下士ノ缺員ヲ補フハ當該中隊ニ於テスルヲ例トス同中隊ニ於テ之ヲ補フコト能ハサルトキハ聯隊長ハ同大隊中他ノ中隊ヨリ之ヲ補フコトヲ得

聯隊長ハ補充上ノ必要又ハ故參ノ下士ヲ各中隊ニ平均スル爲メ下士ヲ甲中隊ヨリ乙中隊ニ轉セシムルコト得

第八十三條 下士候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ下士候補生ヲ免ス

- 一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者
- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三 傷痍若ハ疾病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者

四 卒業試験ニ落第シタル者

第八十四條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊長其ノ事由ヲ悉シテ師團長旅團長在ル隊長ハ旅團長ニ上申シ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第八十五條 下士候補生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ由リ卒業試験ヲ受クルコト能ハサル者ニシテ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ卒業試験ヲ行フコトヲ得又卒業試験ニ落第スルモ尙望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲サシメ卒業セシムルコトヲ得

### 第三款 砲兵諸工長

第八十六條 砲兵諸工長ノ補充ハ砲兵工長候補生ニシテ陸軍砲兵工科學校ヲ卒業シタル者ヲ以テス

第八十七條 砲兵工長候補生ヲ諸工長ニ任スルニハ東京砲兵工廠提理其ノ人名簿ヲ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ三等鞍工長、三等銃工長、三等木工長若ハ三等鍛工長ニ任シ同大臣ノ告達ニ基キ各隊ニ配賦ス

### 第四款 蹄鐵工長

第八十八條 蹄鐵工長ノ補充ハ蹄鐵工長候補生ニシテ陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ヲ以テス

第八十九條 蹄鐵工長候補生ハ生徒及學生ニ分ツ之ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ  
生徒 陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者  
學生 騎兵、砲兵、輜重兵隊ノ蹄鐵工卒現役第二年目者ニ限ル 中品行方正志操確實ニシテ再服役ヲ冀望シ下士候補生タル技能ヲ有スル者

第九十條 蹄鐵工長候補生ニハ騎兵、砲兵若ハ輜重兵隊ニ於テ入隊ノ月ヨリ概テ一年三箇月間軍事及蹄鐵ノ教育ヲ爲シタル後獸醫學校ニ分遣シ概テ九箇月間蹄鐵工長ニ必要ナル學術ヲ習修セシム

第九十一條 蹄鐵工長候補生中生徒ハ入隊ノ後直ニ二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テスヘシ  
第九十二條 蹄鐵工長候補生ヲ蹄鐵工長ニ任スルニハ隊長獸醫學校長ヨリ移牒シタル卒業試験ノ成績ニヨリ蹄鐵工長候補生卒業名簿ヲ製シ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊ニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ三等蹄鐵工長ニ任ス

第九十三條 蹄鐵工長候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ蹄鐵工長候補生ヲ免ス

- 一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者
- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 三 傷痍若ハ疾病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者
- 四 卒業試験ニ落第シタル者

第九十四條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊長其ノ事由ヲ悉シテ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊長ハ旅團長ヲ經テ上申シ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第九十五條 蹄鐵工長候補生獸醫學校分遣中第九十三條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ獸醫學校長其ノ事由ヲ悉シテ本人所屬隊長ニ移牒シ所屬隊長ハ前條ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

第五款 衛生部下士

第九十六條 衛生部下士ノ補充ハ看護手ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役ニ服シ再服役ヲ許サレタル者警備隊ニ在テハ在營一箇年以上ニシテ現及衛生部下士候補期限滿ツル迄在營ヲ許サレタル者トモ

補生ニシテ卒業試験ニ及第シタル者ヲ以テス

衛生部下士ノ補充ハ同師管内近衛師團ニ在テハ師團内ニ於テスルヲ例トス

第九十七條 衛生部下士候補生ニ採用シ得ヘキ者ハ陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者トス

第九十八條 下士候補生ニハ歩兵隊ニ於テ入隊ノ月ヨリ概テ六箇月間軍事教育ヲ爲シタル後衛戍病院ニ於テ概テ一年六箇月間衛生部下士ニ必要ナル學術ヲ習修セシム

第九十九條 下士候補生ハ入隊ノ後二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ヲ經テ上等兵ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テスヘシ

第一百條 下士候補生ヲ下士ニ任スルニハ衛戍病院長卒業試験ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補生卒業名簿ヲ師團軍醫部長ニ移ス

隊附高級醫官ハ看護手中第九十六條ニ適當ノ者ヲ選抜シ其ノ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ十二月一日警備隊ニ在テハ十二月一日及六月一日迄ニ隊長ニ進達シ隊長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ移ス

第一百一條 師團軍醫部長ハ前條ノ下士候補生卒業名簿及下士候補名簿ヲ審査シ必要ト認ムルトキハ更ニ其ノ技能ヲ査閲シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ卒業名簿及候補名簿ヲ陸軍省醫務局長ニ進達シ認可ヲ請ケ缺員ニ應シ看護手下士候補生トヲ交互ニ三等看護長ニ任シ各隊ニ配賦ス

第一百二條 下士候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ下士候補生ヲ免ス

- 一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者
- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 三 傷疾若ハ疾病ニ依リ卒業ノ目途ナキ者
- 四 卒業試験ニ落第シタル者

第一百三條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊附高級醫官又ハ衛戍病院長ハ其ノ事由ヲ悉シテ師團軍醫部長隊附高級醫官ハ隊長ヲ經テニ移シ軍醫部長ハ師團長ノ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第一百四條 下士候補生傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ由リ卒業試験ヲ受クルコト能ハサル者ニシテ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ卒業試験ヲ行フコトヲ得又卒業試験ニ落第スル

モ尙ホ望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲サシメ卒業セシムルコトヲ得

第六款 軍吏部下士

第一百五條 計手ノ補充ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士中入隊後六箇年以上現役ニ服シ補充検査ニ合格シタル者ヲ以テス但シ爾後一箇年以上現役年期ヲ有シ計手志願ノ者ニ限ル

計手ノ補充ハ同師管内 近衛師團ニ在ニ於テスルヲ例トス

第十六條 各隊長ハ毎年三月部下下士中計手志願ニシテ適當ト認ムル者ノ人名書ニ考科表寫ヲ添ヘ師團監督部長ニ送付スヘシ

第十七條 補充検査ハ師團監督部長之ヲ行フ但シ監督部所在外地ニ於ケル志願者ノ検査ハ其ノ期日及要件ヲ定メ隊長ニ依託シテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第十八條 師團監督部長ハ補充検査ノ成績ヲ審査シ其ノ合格ノ者ハ検査ノ成績ニ依リ師管内 近衛師團ニ在ニテハ師團内ニ在ニテハ順序ヲ定メタル計手候補名簿ヲ製シ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ計手ノ缺員ニ應シ之ヲ現官等相當ノ計手ニ任ス

前項ノ候補名簿ニ登載ノ者計手ニ任用前豫備役若ハ後備役ニ入ルトキハ師團監督部

長之ニ計手適任證書ヲ付與ス

第九條 縫工長及靴工長ノ補充ハ縫、靴工長候補生ニシテ陸軍經理學校ヲ卒業シタル者ヲ以テス

第九條ノ二 縫、靴工長候補生ヲ縫、靴工長ニ任スルニハ陸軍省經理局長其ノ人名簿ヲ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ三等縫工長若ハ三等靴工長ニ任シ同大臣ノ告達ニ基キ各隊ニ配賦ス

第七款 軍樂部下士

第十條 軍樂部下士ノ補充ハ樂手補ニシテ二箇年以上現役ニ服シ下士タルノ技能ヲ備フル者ヲ以テス

第十一條 軍樂學校長、軍樂隊長ハ其ノ部下樂手補中前條ニ該當ノ者ヲ選抜シ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ學校長ハ戶山學校長ニ隊長ハ師團長ニ進達ス

第十二條 師團長ハ前條ノ候補名簿ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ缺員アル毎ニ之ヲ三等樂手ニ任ス

戸山學校長ハ前條ノ候補名簿ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ教育總監ニ進達シ認可ヲ請ケ缺員アル毎ニ之ヲ三等樂手ニ任ス

第五章 豫備役後備役下士ノ補充

第一款 各兵科下士

第百十三條 各兵科豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 豫備役上等兵中各兵科下士適任證書ヲ所持スル者

二 豫備役兵卒中蹄鐵工長適任證書ヲ所持スル者

三 各兵科下士中服役七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者

第百十四條 各隊長ハ戰時補充ニ要スル豫備役下士ヲ養成スルノ責任ヲ有ス故ニ毎年

若干名ノ上等兵ニ下士適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

騎兵、野戰砲兵、輜重兵ニ在テハ各聯隊若クハ大隊毎ニ蹄鐵工卒タリシ兵卒若干名

ニ蹄鐵工長適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

第百十五條 各兵科後備役下士ニ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 後備役上等兵中各兵科下士適任證書ヲ所持スル者

二 後備役兵卒中蹄鐵工長適任證書ヲ所持スル者

三 豫備役各兵科下士ヨリ後備役ニ入りタル者

四 各兵科下士中服役七年四箇月以上十二年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備

役ニ入りタル者

第百十六條 第百十三條第一乃至第四及第百十五條第一第二ニ該ル者ヲ下士ニ任スル

ニハ戰時若クハ事變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長

官ノ認可ヲ請ケ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官之ヲ伍長、三等蹄鐵工長

任ス但平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閲シ之ニ任スルコトアルヘシ

第二款 衛生部下士

第百十七條 衛生部豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 豫備役看護手及上等兵中衛生部下士適任證書ヲ所持スル者

二 衛生部下士中服役七箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者

第百十八條 師團軍醫部長ハ戰時補充ニ要スル衛生部下士適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

ヲ有ス故ニ毎年若干名ノ看護手ニ衛生部下士適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

第一百十九條 衛生部後備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

- 一 後備役看護手及上等兵中衛生部下士適任證書ヲ所持スル者
- 二 豫備役衛生部下士ヨリ後備役ニ入リタル者
- 三 衛生部下士中服役七箇年四箇月以上十二箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入リタル者

第一百二十條 第一百七條第一及第一百十九條第一ノ看護手及上等兵ヲ下士ニ任スルニハ戰時若クハ事變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團軍醫部長若クハ之ト同等以上ノ權アル軍醫部長之ヲ三等看護長ニ任ス但シ平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閲シ之ニ任スルコトアルヘシ

第三款 軍吏部下士

- 第一百二十一條 軍吏部豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス
  - 一 各兵科豫備役下士中計手適任證書ヲ所持スル者
  - 二 計手中服役七箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入リタル者
- 第一百二十二條 軍吏部後備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

- 一 各兵科後備役下士中計手適任證書ヲ所持スル者
- 二 豫備役計手ヨリ後備役ニ入リタル者
- 三 計手中服役七箇年四箇月以上十二箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入リタル者

第一百二十三條 第一百二十一條第一及第一百二十二條第一ノ下士ヲ計手ニ任スルニハ戰時若クハ事變ニ際シ計手ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團監督部長若クハ之ト同等以上ノ權アル監督部長之ヲ現官等相當ノ計手ニ任ス但シ平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閲シ之ニ任スルコトアルヘシ

第六章 現役上等兵ノ補充

第一款 憲兵科上等兵

- 第一百三十四條 憲兵上等兵ノ補充ハ步、騎、砲、工、輜重兵隊兵卒中憲兵志願ニシテ左ノ二項ニ該當スル者ヲ以テス
  - 一 二箇年以上現役ニ服シ年齡滿二十二年以上ノ者
  - 二 品行方正志操確實ニシテ三箇月以上憲兵上等兵ノ勤務ニ必要ノ學術ヲ習修シ

補充検査ニ合格シタル者

第二百五條 各聯隊長ハ毎年志願者若干名ヲ選拔シ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名書ニ品行證明書ヲ添ヘ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テ進達シ師團長ハ之ヲ憲兵司令官ニ送付スヘシ

第二百六條 憲兵司令官前條ノ書類ヲ受領シタルトキハ憲兵隊ニ於テ憲兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習修セシムヘキ人員ヲ定メ其人名ヲ師團長ニ通知シ同時ニ各憲兵隊長ニ達スヘシ

第二百七條 第二百四條ノ學術ノ習修及補充検査ハ各憲兵隊管區毎ニ當該憲兵隊本部ニ於テ之ヲ行フ

憲兵隊長ハ學術習修ノ爲メ各聯隊長ニ協議シ本人ヲ憲兵隊本部ニ通學セシム但シ憲兵隊本部所在地外ノ者ハ同本部所在地ノ各隊ニ分遣シ通學セシム

學術習修中傷痍疾病、犯罪、品行不正又ハ學力不充分ニシテ憲兵上等兵ト爲スヘカラサル者アルトキハ憲兵隊長ハ其通學ヲ停止シ本人所屬隊長ニ通知スヘシ  
第二百八條 前條學術習修ニ就テハ憲兵隊長其責ニ任ス

第二百九條 學術ノ習修終レハ憲兵隊長ハ補充検査ヲ行ヒ合格者ニ就キ検査ノ成績

ニ依リ順序ヲ定メタル憲兵上等兵候補名簿ヲ製シ之ヲ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ各憲兵隊毎ニ憲兵上等兵候補名簿ヲ決定シ憲兵隊長ニ下ス憲兵隊長ハ缺員アル毎ニ憲兵上等兵ヲ命ス

候補名簿決定ノ後歸休ヲ命シ又ハ豫備役編入ノ者ニ在テハ憲兵隊長ヨリ聯隊區司令官ニ照會シ該司令部ニ於テ體格検査ヲ行ヒ合格ノ者ニ限り憲兵上等兵ヲ命スルコトヲ得

憲兵司令官ハ必要ニ應シ甲隊ノ憲兵上等兵候補者ヲ以テ乙隊ノ補充ニ充ツルコトヲ得其ノ任命ノ手續ハ本條第二項第三項ノ例ニ依ル又甲隊ノ憲兵上等兵ヲ乙隊ニ轉セシムルコトヲ得

第三十條 補充検査ヲ受ケタル兵卒ハ通學ヲ停止シ候補名簿決定ノ上其ノ人名ヲ憲兵司令官ヨリ師團長ヲ經由シテ各聯隊長ニ通知シ各聯隊長ハ憲兵上等兵候補者タルコトヲ本人ニ達スヘシ

第三十一條 前條候補者ニシテ憲兵上等兵ヲ命セラレタル以前歸休ヲ命シ又ハ豫備

役編入ノトキハ聯隊長ヨリ其ノ由ヲ憲兵隊長及聯隊區司令官ニ通知スヘシ  
第三百二十二條 候補名簿ハ決定ノ日ヨリ次年候補名簿決定ノ日迄之ヲ用ウルモノトス  
第三百二十三條 補充検査格例及合格規程ハ憲兵司令官之ヲ定ム

第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科上等兵

第三百二十四條 步、騎、砲、工、輜重兵上等兵ノ補充ハ兵卒中一箇年警備隊ニ在以上  
現役ニ服シ品行方正ニシテ左ノ二項ニ該當スル者ヲ以テス  
一 上等兵ノ職務ニ適スル學術及能力アル者

二 諸技藝凡ソ兵卒ノ上位ヲ占ムル者

第三百二十五條 屯田歩兵ノ上等兵ハ前條ノ外各師團ノ豫備役後備役下士上等兵ニシテ  
屯田兵ト爲リタル者ヨリ直ニ補充スルコトヲ得  
一 箇年以上現役ニ服シタル豫備役後備役兵卒ニシテ屯田兵ト爲リ前條ノ資格ヲ備フ  
ル者亦同シ

第三百二十六條 上等兵ヲ選舉スルニハ中隊長其ノ部下兵卒中第三百三十四條ニ該當ノ者  
ヲ撰ヒ優劣ニ依リ順序ヲ定メ其ノ人名書ヲ大隊長ニ進達ス

第三百二十七條 大隊長ハ更ニ各中隊ノ候補者ヲ檢閲シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ其ノ人名  
書ヲ聯隊長ニ進達ス

第三百二十八條 聯隊長ハ中隊ニ缺員アル毎ニ候補者ニ上等兵ヲ命ス

第三百二十九條 上等兵ノ缺員ハ同中隊ノ候補者ヲ以テ補フモノトス

各中隊長ハ其ノ中隊ニ於テ所要ノ上等兵ヲ養成スルヲ以テ責任トス

第三百四十條 上等兵ハ毎年各中隊ニ於テ凡ソ其ノ定員ノ半數宛補充スルヲ例トス

第七章 現役看護手ノ補充

第三百四十一條 現役看護手ノ補充ハ步、騎、砲、工、輜重兵ノ初年兵ニシテ概テ六箇  
月間軍事教育ヲ受ケ更ニ概テ六箇月間看護學ヲ修メタル者ヲ以テス

警備隊ニ在テハ軍事教育及看護學修業期限ハ各三箇月間トス

第三百四十二條 前條ノ補充ハ師團軍醫部長豫メ各隊所要ノ看護手人員ヲ調査シテ師團  
長ニ進達シ師團長ハ之ヲ各隊ニ配賦シ分隊長ハ之ヲ各中隊ニ配賦スヘシ

第三百四十三條 前條ノ配賦ヲ受ケタル中隊長ハ部下兵卒中篤實溫厚ニシテ看護手ニ適  
當ノ者ヲ選ヒ其ノ名簿ヲ製シ順序ヲ經テ聯隊長ニ進達スヘシ



第四百四十四條 聯隊長ハ前條ノ名簿ニ依リ看護學修業兵ヲ命シ其ノ地ノ衛戍病院ニ入學或ハ通學セシムヘシ

第四百四十五條 看護學修業兵卒業シタルトキハ看護學修業兵名簿ニ登載シ缺員アル毎ニ聯隊長之ニ看護手ヲ命ス

第八章 現役樂手補ノ補充

第四百四十六條 現役樂手補ノ補充ハ軍樂學校生徒ノ卒業シタル者ヲ以テス

第四百四十七條 軍樂學校長ハ前條卒業者ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名簿ヲ戶山學校長ニ進達スヘシ

第四百四十八條 軍樂學校卒業者ニ樂手補ヲ命スルニハ戶山學校長前條ノ人名簿ヲ教育總監ニ進達シ認可ヲ請ク之ニ樂手補ヲ命シ陸軍大臣ノ告達ニ基キ軍樂學校及軍樂隊ニ配賦ス

第四百四十九條 (削除)

第四百五十條 樂手補ハ必要ニ應シ其ノ所屬ヲ轉換スルコトヲ得

第九章 特別補充

第五百一十一條 戰時若クハ事變ニ際シ士官及下士ノ缺員アルトキハ本條例各章ニ依ルノ外尙ホ本章ニ依リ補充スルコトヲ得

第五百一十二條 士官ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ補充スルコトヲ得但シ補充ヲ爲スヘキ時期及區分ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル

一 現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官、現役見習軍吏及修業概テ一箇年ヲ過キタル軍吏學生

二 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏

三 後備役見習士官、後備役見習醫官、後備役見習藥劑官

四 現役豫備役後備役特務曹長ニシテ曹長ニ任セラレタル日ヨリ二箇年六箇月ヲ過キタル者

監督學生ニシテ修業概テ一箇年ヲ過キタル者ヲ以テ監督補ニ任スルコトヲ得其時期ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル

第五百一十三條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲシテ士官ノ勤務ニ服

セシムルコトヲ得

- 一 現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官、現役見習軍吏及修業概子一箇年ヲ過キタル軍吏學生
  - 二 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏
  - 三 後備役見習士官、後備役見習醫官、後備役見習藥劑官  
監督學生ニシテ修業概子一箇年ヲ過キタル者ヲ以テ監督補ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得
- 第百五十三條ノ二 軍醫學校生徒ニシテ修業概子三箇月ヲ過キタル者ハ必要ニ應シ現役見習醫官、現役見習藥劑官ト爲スコトヲ得
- 第百五十四條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏ト爲シ士官ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得但シ第五第六ニ該ル者ノ採用方法及時期ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル

- 一 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル者
  - 二 各兵科士官適任證書ヲ所持スル豫備役准士官下士
  - 三 衛生部士官適任證書ヲ所持スル豫備役下士
  - 四 軍醫生、藥劑生、獸醫生タルニ一年志願兵
  - 五 醫術開業免狀藥劑師免狀ヲ所持スル者又ハ醫師免許規則第三條第四條藥品營業並ニ藥品取扱規則第四十六條ニ依リ試験ヲ要セシテ免狀ヲ得ヘキ資格アル者
  - 六 獸醫免許規則第二條第二項第三項若クハ第四項ニ該ル者
- 第百五十五條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲ以テ後備役見習士官後備役見習醫官、後備役見習藥劑官ト爲シ士官ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得
- 一 各兵科士官適任證書ヲ所持スル後備役准士官下士
  - 二 衛生部士官適任證書ヲ所持スル後備役下士
- 第百五十六條 動員ヲ行ヒタル部隊ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ノ中ヨリ下士ノ補充ヲ爲スコトヲ得

一 入隊後四箇月ヲ經過シタル一年志願兵

二 現役豫備役後備役上等兵及上等兵ノ階級ニ在ル下士候補生

三 現役豫備役後備役看護手

四 獸醫學校ニ於テ修業概テ六箇月ヲ過キタル蹄鐵工長候補生

第百五十七條 計手ノ補充ハ必要ニ應シ計手志願ノ下士ニシテ隊附軍吏ニ附屬セシメ技能ヲ試ミタル者ヲ以テスルコトヲ得

砲兵諸工長ノ補充必要ニ應シ砲兵諸工長候補生ニシテ修業概テ一年四箇月ヲ過キタル者ヲ以テスルコトヲ得

第百五十八條 第百五十二條ニ該ル者ノ任官ハ陸軍大臣奏薦宣行ス

戦地ニ在テハ特ニ進級補除ノ權ヲ委任セラレタル首將之ヲ專行スルコトヲ得

第百五十九條 第百五十五條ニ該ル者ノ身分取扱ハ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官ニ同シ

第百六十條 第百五十六條及第百五十七條第一項ニ該ル者ノ任官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ聯隊長、師團監督部長、師團軍醫部長若クハ之

ト同等以上ノ權アル部隊長之ヲ行フ但屯田騎兵、砲兵、工兵隊ニ在テハ第七師團長自ラ之ヲ行フ

師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ時宜ニ依リ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル部隊長ニ直ニ任官ノ權ヲ委任スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ本條例第四章ニ規定スル下士候補名簿ノ順序ニ拘ハラズ任官スルコトヲ得

第百五十三條ノ二及第百五十七條第二項ニ當ル者ハ陸軍大臣必要ニ應シ陸軍省醫務局長若ハ東京砲兵工廠提理ヲシテ現役見習醫官、現役見習藥劑官ヲ命セシメ若クハ砲兵諸工長ニ任セシメ各師團ニ配賦スルコトヲ得

第百六十一條 第百五十三條第二第三第百五十四條及第百五十五條ニ該ル者ハ現役ヲ離ルルトキ若クハ復員ノ際之ヲ士官ニ任スルコトヲ得其ノ士官ニ任セサル者ハ曹長、同相當官ニ任ヌ但シ第百五十四條第五第六ニ該ル者ニシテ士官ニ任セラレサルトキハ豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官ヲ免ヌ

前項ニ依リ士官ト爲スニハ各兵科ニ在テハ將校會議、衛生部ニ在テハ衛生部士官選

舉會議ニ於テ可決シタル者獸醫部及軍吏部ニ在テハ所屬長官及同部士官ノ保證ヲ爲スモノニ限ル

第六十二條 大本營ニ軍事内局ヲ置キ將校同相當官ノ人事ヲ取扱フトキハ其ノ取扱ニ係ルモノニ付テハ第五百五十二條但書及第五百五十八條第一項ヲ適用セス

第六十三條 現役豫備役後備役特務曹長ハ曹長ニシテ軍曹ニ任セラレタル日ヨリ一箇年六箇月ヲ過キタル者ノ中ヨリ補充スルコトヲ得

第十章 雜則

第六十四條 士官候補生、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官及現役見習軍吏ハ志願兵トシテ入隊ノ日ヨリ兵籍ニ編入ス

第六十五條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ軍隊ニ在テハ屯營内ニ學校ニ在テハ校内ニ居住セシム但シ其ノ居室ハ一般下士兵卒ト混同スルコトナシ

第六十六條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ各階級ニ於テ本官等下士兵卒ノ上位トス

第六十七條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ室内其ノ他諸物品ノ掃除及馬具馬匹等ノ掃除ノ爲ニハ兵卒ニ使役スルコトヲ得但シ士官候補生ハ馬具馬匹等ノ掃除ヲ習得スル爲ニハ自ラ之ヲ爲スモノトス

第六十八條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏各兵科下士官候補生、砲兵工長候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士官候補生及縫、靴工長候補生ハ情願ヲ以テ之ヲ免セザルモノトス

第六十九條 臺灣守備隊及基隆澎湖島要塞砲兵隊下士兵卒ヨリ憲兵下士上等兵ヲ補充スルトキ之ニ要スル手續ハ本條例第四章第三款第六款準用ス

第七十條 將校會議又ハ衛生部士官選舉會議ニ於テ可決シタル者若クハ各部士官ニ任ズルニハ資格アリト認メタル者ハ任官ニ至ル迄部隊ニ在テ士官ノ勤務ニ服セシム

第七十一條 下士官候補名簿ハ認可決定ノ日ヨリ喪年滿候補名簿決定ノ日迄之ヲ用ク

下士官補充上ノ必要アルトキ下士官候補名簿ニ追加スル事ヲ得其ノ取扱ハ各本條例ニ準ス

第七十二條 (削除)

第七十三條 下士若クハ上等兵候補名簿ニ登載シタル者及下士上等兵候補者ニシテ任用前候補者タラシムヘカラサル事由ヲ生スルトキ又ハ所屬ヲ轉換スルトキ若クハ身上異動ヲ生スルトキハ本人所屬長官ヨリ其ノ由ヲ關係アル部隊ノ長官ニ通知又ハ上申スヘシ

附則

第七十四條 輻重兵科現役士官ノ補充ハ輻重兵科士官候補生ヲ以テ補充シ得サル間ハ他兵科ノ現役士官ヲ轉科セシメ補充スルコトヲ得

第七十五條 准士官下士兵卒 一年志願兵ニ及陸軍諸生徒ハ當分ノ内士官候補生ヲ志願スルコトヲ得

准士官下士兵卒ヨリ採用スル者ハ士官候補生トシテ入隊ノ日ヲ以テ本官若ハ服役ヲ免シ諸生徒ヨリ採用スル者ハ之ヲ命スルノ日直ニ退學セシム

第七十六條 當分ノ内本條例第七條第二第三ニ該ル者ニシテ入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得サル者ト雖モ採用スルコトヲ得

前項並ニ前條ニ依リ採用シタル者ハ本條例第十二條ノ例ニ依リ各兵隊ニ配賦ス

第七十七條 豫備役後備役將校、同相當官ノ補充ハ當分ノ内豫備役後備役准士官下

士中士官適任證書ヲ所持スル者ヨリ補充スルコトヲ得

士官適任證書ヲ所持スル者ヲ豫備役後備役ノ士官ニ爲スニハ第五十八條第一ニ該ル者ノ例ヲ準用ス

第七十八條 看護手ヲ以テ下士ヲ補充スルハ各本條ノ規定ニ依ルノ外當分ノ内再服役志願ニアラサル者ヲ以テスルコトヲ得

第七十九條 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役砲兵上等兵中砲兵工科學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ伍長ニ任スルコトヲ得其取扱手續ハ第一百十六條ニ依ル

第一百七十九條ノ二 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役兵卒中陸軍獸醫學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ三等蹄鐵工長ニ任スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ第一百十六條ニ依ル

第一百七十九條ノ三 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役上等兵中軍吏部下士

適任證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ計手ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得  
前項ニ依リ六箇月以上計手ノ勤務ニ服シタル上等兵ハ必要ニ應シ師團長若ハ之ト同  
等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團監督部長若ハ之ト同等以上ノ權アル監督部長  
之ヲ二等計手ニ任スルコトヲ得

第百七十九條ノ四 當分ノ内戰時若ハ軍變ニ際シ豫備役、後備役兵卒中陸軍經理學校  
卒業證書ヲ所持スル者ニ以テ必要ニ應シ三等縫工長若ハ三等靴工長ニ任スルコトヲ  
得其ノ取扱手續ハ前條第二項ノ例ニ準ス

第百八十條 (削除)

第百八十一條 見習醫官、見習藥劑官ハ當分ノ内依託學生ニアラスシテ帝國大學醫科  
大學ノ課程ヲ卒ヘタル者又ハ外國ニ留學シ之ト同等以上ノ學力アル者又ハ一年志願  
兵中軍醫、藥劑生ニシテ醫術開業免狀若ハ藥劑師免狀ヲ所持シ衛生部現役士官志  
願ノ者ヨリ採用スルコトヲ得但一年志願兵ヨリ採用スル者ハ之ヲ命シタル日ヲ以テ其  
服役ヲ免ス

前項ニ依リ採用シタル者ノ内醫科大學ノ課程ヲ卒ヘタル者及外國ニ留學シ之ト同等

以上ノ學力アル者ハ陸軍二等軍醫、陸軍二等藥劑官ニ其ノ他ハ陸軍三等軍醫、陸軍三  
等藥劑官ニ任ス其ノ手續ハ第三十七條第一項ノ例ニ依ル

見習獸醫官ハ當分ノ内依託學生、依託生徒ニアラスシテ帝國大學農科大學獸醫學科  
又ハ同大學獸醫學實科ノ課程ヲ卒ヘタル者又ハ一年志願兵中獸醫生ニシテ獸醫免狀  
ヲ所持シ獸醫部現役士官志願ノ者ヨリ採用スルコトヲ得但シ一年志願兵ヨリ採用ノ  
モノハ之ヲ命シタル日ヲ以テ其ノ服役ヲ免ス

前項ニ依リ採用シタルモノノ中農科大學獸醫學科ノ課程ヲ卒ヘタルモノハ陸軍二等  
獸醫ニ其ノ他ハ陸軍三等獸醫ニ任ス其手續ハ第四十五條第一項ノ例ニ依ル

第百八十二條 明治三十二年十二月一日前ニ於テ再服役ヲ許サレタル歩、騎、砲、工、輜  
重兵科ノ上等兵ハ當該兵科ノ伍長ニ任スルコトヲ得

第百八十三條 當分ノ内第百五條ノ六箇年ヲ四箇年ニ短縮スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍省令第三十四號  
陸軍召募規則左ノ通改正ス  
明治三十二年十一月十五日  
陸軍大臣子爵桂 太郎

○陸軍省令第三十四號

陸軍召募規則左ノ通改正ス

明治三十二年十一月十五日

陸軍大臣子爵桂 太郎

陸軍召募規則

第一章 總則

第二章 士官候補生及地方幼年學校生徒

第一款 士官候補生

第二款 地方幼年學校生徒

第三章 見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒及軍醫學校生徒

第一款 見習醫官、見習藥劑官

第二款 衛生部依託學生、同依託生徒

第三款 軍醫學校生徒

第四章 見習獸醫官獸醫部依託學生、同依託生徒

第一款 見習獸醫官

第二款 獸醫部依託學生、同依託生徒

第五章 各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士候補生

第六章 砲兵工長候補生

第七章 縫工長候補生、靴工長候補生

第八章 軍樂學校生徒

附則

陸軍召募規則

第一章 總則

第一條 本則ハ陸軍各兵科現役士官候補生、地方幼年學校生徒、見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒、軍醫學校生徒、獸醫部依託學生、同依託生徒、各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、砲兵工長候補生、衛生部下士候補生、縫工長候補生、靴工長候補生及軍樂學校生徒召募ノ手續ヲ規定スルモノトス

第二條 各兵科現役士官候補生、地方幼年學校生徒、軍醫學校生徒、砲兵工長候補生、縫工長候補生及軍樂學校生徒ノ召募人員ハ陸軍大臣其ノ時時之ヲ告示ス

第三條 左ノ各項ニ該ル者ハ採用セズ  
一 妻アル者 軍醫學校生徒、見習獸醫官志願者ヲ除ク

二 本人或ニ父若クハ戸主家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者及身代限リノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

三 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

四 素行修マラサル者及家庭不良ナル者

第四條 志願者ノ年齢及身長左ノ如シ但シ年齢ハ入隊又ハ入校ノ期月 依託學生、依託用ノヲ以テ之ヲ算ス 生徒ニ在テハ採用ノ月ヲ以テ之ヲ算ス

士官候補生

年齢十八年以上二十三年以下  
身長五尺以上

地方幼年學校生徒

年齢十三年以上十五年以下  
身長十四年未滿四尺四寸以上十四年以上四尺五寸五分以上但戰死及戰傷ニ依リ死歿シタル者ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將校及同相當官位ニ高等文官ノ孤兒ニ在テハ身長本文ノ定限ニ達セサルモ士官候補生ト爲ル迄ニ該定限ニ達スヘキ見込アル者

衛生部依託學生、同依託生徒

年齢十八年以上二十八年以下  
身長五尺以上  
年齢二十年以上三十年以下  
身長五尺以上

軍醫學校生徒

陸軍召募規則



獸醫部依託學生、同依託生徒

各兵科下士候補生

年齡十八年以上二十八年以下  
身長五尺以上

諸工長候補生、衛生部下士候補生

年齡十八年以上二十三年以下  
身長砲兵工兵科ハ五尺二寸以上其他ハ五尺以上  
身長五尺以上

軍樂學校生徒

年齡十七年以上二十年以下  
身長十八年未滿四尺九寸以上五年以上五尺以上

第五條 入隊又ハ入校期日左ノ如シ

士官候補生

各兵科下士候補生

諸工長候補生

衛生部下士候補生

軍樂學校生徒

地方幼年學校生徒

軍醫學校生徒

十二月一日

六月一日

縫、靴工長候補生 陸軍部外ヨリ採用者ハ六月一日縫、靴工  
ヨリ採用ノ者ハ六月一日及十二月一日

第六條 検査ヲ分テ身體検査及學科試験トシ學科試験ハ身體検査合格者ニ就テ之ヲ行

フ

士官候補生志願者中陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者ハ學科試験ヲ行ハスト雖學力  
ノ優劣ヲ判別スル爲メ若干ノ科目ニ就テ檢定試験ヲ行フ

第七條 左ノ各事項ノ一ニ該ル者ハ検査ヲ停止ス但第一ニ該ル者ハ爾後出願スルモ採  
用セズ

一 身體検査、學科試験及檢定試験ノ際不正ノ所爲アリタル者

二 検査場へ規定外ノ物品及筆記類ヲ携帯セシ者

三 身體検査及學科試験ニ缺席又ハ遅刻シタル者

四 學科試験ニ於テ一科目ノ各問題ヲ全ク答解シ能ハサル者

第八條 志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ノ者ニ名ヲ以テ保證人ト爲シ願  
書第一號ニ戶籍ノ謄本及履歷書第二號ヲ添附スヘシ但志願者ハ相互ニ保證人トナル  
コトヲ得ス

陸軍部内ノ志願者 在郷者ヲ除クニ在テハ身元保證人並ニ戶籍ノ謄本及履歷書ハ之ヲ  
要セズ 以下之ニ同シ

陸軍召募規則

第九條 志願者ハ検査期日前検査地ニ到着シ書面ヲ以テ其ノ止宿所ヲ指定ノ場所ニ届出ヘシ但検査地ニ居住ノ者ト雖陸軍部外ノ志願者ニ在テハ本文ニ準シ届出ヘシ

第十條 士官候補生陸軍部内ノ志願者ヲ除ク地方幼年學校生徒及軍醫學校生徒ハ新タニ撮影シタル寫真紙裏面ニ族籍氏名一葉ヲ携帶シ検査醫官ニ差出スヘシ

第十一條 學科試験及檢定試験ノ際筆、墨、墨池、小刀、圖引具三邊板ヲ携帶スヘシ其ノ他一切ノ書類筆記類ハ勿論白紙等ヲ携帶スルヲ許サス但圖引具ヲ携帶スルハ士官候補生、地方幼年學校生徒及砲兵工長候補生ニ限ル

第十二條 志願者願書ヲ差出シタル後入隊又ハ入校迄ノ間ニ於テ轉籍、轉住、氏名變更、犯罪、死亡其ノ他願書類ニ記載ノ事項及身元保證人等ニ異動ヲ生スルトキハ本人又ハ身元保證人ヨリ最初届出ノ手續ニ從ヒ速ニ届出ヘシ但陸軍部内ノ志願者ニシテ轉隊、派遣其ノ他本文ノ異動ヲ生スルトキハ部隊長ヨリ報告スヘシ

入隊後若クハ入校後身元保證人ヲ改メントスルトキハ隊長又ハ學校長ニ届出ヘシ  
第十三條 入隊又ハ入校ノ命ヲ受ケタル者疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ヲ生シ入隊又ハ入校延期ヲ願出テントスルトキハ其ノ願書ニ何日間猶豫ノ旨ヲ記シ疾病ハ醫師ノ

診斷書其ノ他ハ市町村長ノ證明書ヲ添ヘ隊長又ハ學校長ニ差出スヘシ

入隊又ハ入校途中ニ於テ前項ノ事故ヲ生シ期日ニ到着シ難キトキハ電信若クハ郵便ヲ以テ隊長又ハ學校長ニ届出ヘシ其事故止ミ入隊又ハ入校スルトキ疾病ハ醫師ノ診斷書其ノ他ハ市町村長若クハ船長等ノ證明書ヲ以テ更ニ届出ヘシ

第一項及第二項ノ事故ニテ入隊又ハ入校期日ヨリ二十日以内ニ到着セサル者ハ除名スルコトアルヘシ

第十四條 入隊又ハ入校ヲ命セラレタル者故ナク出發ヲ遲延シ若クハ無届ニテ期日ニ到着セス又ハ自己ノ不注意ヨリ期日ニ後レタル者ハ入隊又ハ入校スルヲ許サス

第十五條 陸軍部外及一年志願兵ヨリ志願ノ者ハ検査ノ爲メ往復及滞在ノ費用並ニ其ノ採用後入隊又ハ入校迄ノ費用ハ一切自辨トス但各兵科下士候補生、諸工長候補生、衛生部下士候補生及軍樂學校生徒ニ採用セラレタル者ニハ其ノ居住地検査當時ヨリノ居住地ノ入隊又ハ入校地迄ノ里程ニ應シ旅費ヲ官給ス然レトモ自己ノ便宜ヲ以テ入隊又ハ入校期日前早著シ滞在スル者ニ對シテハ之ヲ増給セス

第十六條 將校生徒試驗臨時委員及其ノ他ノ試驗官ハ特ニ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 試験ノ日割及順序ハ一切之ヲ變更セス  
 二 第七條ニ該ル者アルトキハ本人ノ検査ヲ停止ス  
 三 試験問題ニ付受験者ノ質問ニ説明ヲ與ヘス  
 第十七條 將校生徒試験臨時委員及其ノ他ノ試験官ハ試験書類ニ左ノ報告書ヲ添附ス  
 ヘシ

- 一 試験ノ景況
- 二 受験者ノ品格
- 三 試験ニ關スル意見

第十八條 本則中聯隊區司令官トアルハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官若クハ警備隊區司令官郡長トアルハ島廳ヲ置ク島廳ニ在テハ島司、北海道ニ在テハ支廳長、市長トアルハ東京市、京都市、大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ノ區ニ在テハ區長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戶長及之ニ準スヘキ者ニ該當ス  
 聯隊區若クハ聯隊區司令部トアルハ警備隊區ニ在テハ警備隊區若クハ警備隊司令部、警備隊區司令部トス

第十九條 召募ニ關シ一時本則ノ規定ニ依ラサルモノアルトキハ之ヲ告示ス

第二章 士官候補生及地方幼年學校生徒

第一款 士官候補生

第二十條 陸軍補充條例第七條第三ニ該ル者ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ中學全科卒業ノ學力ニ比準シ外國語學ハ本人ノ冀望ニ依リ英、佛、獨ノ内一種ヲ限リ試験ス

- 讀書 漢文
- 作文 漢字交リ文、文法
- 算術
- 代數學 平面、立體
- 幾何學 平面
- 三角學 日本、外國、地文
- 地理 日本、外國
- 歴史 日本、外國
- 生理學

陸軍召募規則

衛生學

動物學

植物學

物理學

化學

圖畫

外國語學

無機化學

用器書、自在書

英、佛、獨(和文歐譯、歐文和譯、文法)

第二十一條

左ノ各地ニ検査場ヲ設ク陸軍部外ノ志願者ハ便宜ノ検査場ヲ選定シ之ヲ願書ニ記載スヘシ但居住地所在師管外ノ検査場ヲ選定スルヲ得ス

第一師管

東京 横須賀 高崎 長野 佐倉

第二師管

水戸 宇都宮 仙臺 福島 新發田 柏崎

第三師管

名古屋 津 豊橋 静岡

第四師管

大阪 和歌山 伏見 大津

第五師管

廣島 尾道 山口 濱田

第六師管

熊本 大村 鹿兒島 宮崎

第七師管

札幌 函館 旭川

第八師管

弘前 盛岡 秋田 山形

第九師管

金澤 富山 鯖江 岐阜

第十師管

姫路 岡山 福知山 鳥取

第十一師管

丸龜 松山 高知 徳島

第十二師管

小倉 大分 福岡 久留米

第二十二條 學科試験檢定試験ハ四月十一日ヨリ之ヲ行フ

第二十三條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル書類ノ外陸軍補充條例第七條第二ニ

該ル者ハ學校長ノ保證書第四號及各自ノ入隊スヘキ隊長ノ承認書第六號ヲ願書ニ添

附シ検査ヲ受クヘキ前年ノ十一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之

ヲ郡長ニ差出スヘシ但願書ニ冀望ノ兵種及隊號ヲ記載スヘシ

隊長ノ承認ヲ得タル者ト雖合格人員其ノ隊ノ所要人員ニ超過スル場合ニ在テハ他ノ

隊ニ入隊セシムルコトアルヘシ

第二十四條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ與書證印ヲ爲シ又身元明細書第三號ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ一月十日迄ニ師團長近衛師團長ヲ除ク以下單ニ師團長トアルモノ之ニ同シニ差出スヘシ

第二十五條 陸軍部内ノ志願者ハ第二十三條ノ例ニ依リ其ノ願書ヲ部隊長ニ差出シ部隊長ハ其ノ身分財產等ヲ調査シ身元明細書第三號ヲ製シ兵籍寫及考科表寫考科表ナキモノハ之ニ準スト共ニ願書ニ添附シテ一月十日迄ニ所管師團長ニ差出スヘシ

近衛師團ニ在テハ該師團長前項ノ書類ヲ取纏メ二月十五日迄ニ第一師團長ニ移スヘシ

第二十六條 前二條ノ身元明細書調製後第三十八條ノ通達アル迄ニ其ノ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル者アルトキハ郡市長又ハ部隊長ヨリ速ニ之ヲ師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ教育總監ニ差出スヘシ但採用ノ通達ヲ受ケタル者ニ付テハ入隊迄本文ノ取扱ヲ爲スヘシ

近衛師團ノ各部隊ニ屬スル者ニ係ル前項ノ報告ハ該師團長ヲ經由シ第一師團長ニ報

告スルモノトス

第二十七條 中學全科卒業ニ至ラスト雖入隊スヘキ年ノ七月十日迄ニ卒業スヘキ者ハ陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者ニ準シ願出ルコトヲ得

第二十八條 前條ノ志願者中學全科卒業試驗ヲ終ルトキハ學校長ヨリ其成績各科目ノ得點同列序及第又ハ落第ヲ詳記シ師團長ニ報告シ師團長ハ七月二十日迄ニ之ヲ教育總監ニ差出スヘシ

第二十九條 陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者初年ニ於テ採用セラレサルトキハ其ノ次年ニ限り更ニ學校長ノ保證書ヲ要セス願出ルコトヲ得其ノ出願者ハ前年該保證書ヲ差出シタル旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十條 志願者中願書ヲ差出シタル後検査場ノ變更ヲ望ム者ハ最初願出ノ手續ニ依リ其ノ變更ヲ願出ヘシ但其ノ願書三月十日迄ニ教育總監部ニ到達セサルモノハ採用セズ

第三十一條 師團長ハ第二十四條及第二十五條ノ書類ヲ審査シ検査場毎ニ區分シタル陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者  
甲 陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者  
乙 陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者  
二種ノ志願者人名書ヲ製シ願書其ノ他ノ書

陸軍召集規則

類ト共ニ一月三十一日迄ニ教育總監ニ差出スヘシ

第三十二條 師團長ハ甲検査場最寄地方ノ志願者少數ナルトキハ乙検査場ニ於テ検査セシムルコトヲ得

前項ニ依リ甲検査場ヲ設ケサルトキハ之ヲ志願者ニ通達シ又前條ノ書類ヲ差出ストキ之ヲ教育總監ニ報告スヘシ

第三十三條 師團長ハ將校生徒試験臨時委員ヲ命シ教育總監ヨリ受領スル所ノ試験問題等ヲ下付シ試験ニ關スル必要ノ訓示ヲ與ヘ又軍醫ニ身體検査醫官ヲ命シ且體格検査表ヲ調製シ之ニ教育總監ヨリ受領スル所ノ志願者連名簿第七號ヲ添ヘ該醫官ニ下付スヘシ

第三十四條 師團長ハ試験期日前ニ身體検査ヲ結了スル如ク期日ヲ定メテ志願者ヲ召集シ検査醫官ヲシテ身體検査ヲ爲サシムヘシ

第三十五條 陸軍部内ノ志願者ニシテ検査場設置地外ニ在ル者ハ其ノ地ノ軍醫ヲシテ身體検査ヲ行ハシメ其ノ合格者ヲ検査場ニ到ラシムヘシ

第三十六條 身體検査醫官検査終レハ志願者連名簿ニ合格不合格ノ等位及身長等ヲ記

入シ合格者ノ寫真紙ト共ニ將校生徒試験臨時委員ニ交付スヘシ

第三十七條 將校生徒試験臨時委員試験終レハ其ノ答解書ヲ密封シ試験ニ關スル一切ノ書類及試験全済者並ニ不正ノ所爲ニ依リ検査ヲ停止シタル者ノ寫真紙ト共ニ之ヲ師團長ニ差出シ師團長ハ之ヲ取纏メ自己ノ意見ヲ附シ四月三十日迄ニ教育總監ニ差出スヘシ

第三十八條 志願者中採用スヘキ者ト否トハ教育總監ノ達ニ依リ師團長ヨリ部隊長若クハ郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第二款 地方幼年學校生徒  
第三十九條 地方幼年學校生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ中學第一年級終業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文、文法

算術 初步

地理 日本地理ノ大要

陸軍召募規則

歴史 日本歴史ノ大要

理科 初歩

圖畫 鉛筆畫

第四十條 志願者ハ左ノ召募區域ニ依リ願出ヘシ

第一師管内居住ノ者ハ 東京地方幼年學校

第二、第七及第八師管内居住ノ者ハ 仙臺地方幼年學校

第三及第九師管内居住ノ者ハ 名古屋地方幼年學校

第四及第十師管内居住ノ者ハ 大阪地方幼年學校

第五及第十一師管内居住ノ者ハ 廣島地方幼年學校

第六及第十二師管内居住ノ者ハ 熊本地方幼年學校

第四十一條 前條ノ如ク召募區域ヲ定メ雖各地方幼年學校生徒志願者ノ合格人員ニ

過不足アルモ其ノ超過セシ者モ他ノ不足セシ學校ニ入學キシムルコトアルヘシ

故ニ志願者ハ豫メ他ノ學校ヲ選ビ願書ニ記載スヘシ

第四十二條 検査場ハ士官候補生検査場ニ同シ志願者ハ第三十一條ノ例ニ準シ其ノ檢

査ヲ受クヘキ場所ヲ選定シ之ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十三條 學科試験ハ四月十六日ヨリ之ヲ行フ

第四十四條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ノ検査ヲ受クヘキ前年ノ十二

月三十一日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

本籍地召募區域外ニ居住シ本籍地召募區ノ幼年學校ニ入學セントスル者ハ願書其ノ

他ノ書類ヲ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ但其ノ検査ヲ居住地地方ニ於テ受ケントス

ルトキハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十五條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ奥書證印ヲ

爲シ又身元明細書<sup>第三號</sup>ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ一月三十一日迄ニ地方幼年學校長

ニ送付スヘシ

第四十六條 地方幼年學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ検査場毎ニ區分シタル志願者人名

書ヲ製シ二月二十日迄ニ教育總監ニ差出スヘシ但該人名書ニハ族籍年齡居住地及戰

死並ニ戰傷ニ依リ死歿シ又ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將

校同相當官及高等文官ノ孤兒ニ在テハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

陸軍召募規則

第四十四條第二項但書ニ該ル者アルトキハ本籍地方ノ幼年學校長ハ其ノ趣ヲ居住地  
方ノ幼年學校長ニ通報シ該學校長ハ之ヲ検査人員中ニ加入スヘシ

第四十七條 身體検査其ノ他試験ノ方法等ハ第三十條乃至第三十七條ノ例ニ準ス  
第四十八條 地方幼年學校長ハ志願者身元明細表ヲ製シ四月三十日迄ニ教育總監ニ差  
出スヘシ

第四十九條 志願者中採用スヘキ者ト否トハ教育總監ノ達ニ依リ地方幼年學校長ヨリ  
郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第五十條 入校ヲ命セラレタル者ヲ特待生  
金證書第八號ヲ學校長ニ差出スヘシ  
ハ更ニ身元保證人二名ヲ定メ入學期日前ニ納

第五十一條 生徒ノ納ムヘキ金額ハ左ノ如シ  
半特待生 初度被服料金十圓  
毎月納金三圓二十五錢

自費生 初度被服料金三十圓  
毎月納金六圓五十錢  
特待生及半特待生中自己ノ便宜ヲ以テ退校ヲ願出ツル者アルトキハ其ノ事情ヲ酌量  
シ自費生ノ納金額ニ準シ在學中ノ費用ヲ納メシムルコトアルヘシ

第五十二條 前條ノ納金ハ實費ヲ精算シ不足スルトキハ之ヲ追納セシメ殘餘ハ之ヲ還  
付ス

第五十三條 初度被服料及入校當月ノ納金ハ入校ノ前月二十八日迄ニ爾後毎月ノ納金  
ハ其ノ前月二十八日迄ニ身元保證人ヨリ當該學校ニ納付スヘシ但便宜ニ依リ若干月  
分ヲ前納スルコトヲ得

第三章 見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒及軍醫學校生徒  
第一款 見習醫官、見習藥劑官

第五十四條 一年志願兵中軍醫生、藥劑生ニシテ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ志願スル  
者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ニ醫術開業免狀寫若クハ藥劑師免狀寫ヲ添ヘ  
六月十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ之ヲ調査シ六月十五日迄ニ師團軍醫部長ニ送付ス  
ヘシ

第五十五條 師團軍醫部長ハ陸軍省醫務局長ヨリ受領スル試験問題ヲ隊附高級醫官若  
クハ衛戍病院長ニ下付シ検査ニ關スル必要ノ訓示ヲ與ヘ同官ヲシテ志願者ノ検査ヲ  
行ハシムヘシ



第五十六條 隊附高級醫官若クハ衛戍病院長前條ノ検査ヲ終レハ其ノ答解書ヲ密封シ自己ノ意見ヲ附シ試験ニ關スル書類ト共ニ六月三十日迄ニ師團軍醫部長ニ差出スヘシ

第五十七條 師團軍醫部長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其ノ成績ニ依リ列序ヲ定メタル人名書ヲ製シ之ニ試験書類ヲ添ヘ且自己ノ意見ヲ附シ七月十五日迄ニ陸軍省醫務局長ニ差出スヘシ

第五十八條 陸軍省醫務局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ採用スヘキ者ト否トヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ師團軍醫部長ニ達シ軍醫部長ハ隊長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ  
第二款 衛生部依託學生、同依託生徒

第五十九條 衛生部依託學生、同依託生徒ノ要員ハ陸軍省醫務局長之ヲ帝國大學總長、高等學校長若クハ府縣立醫學校長ニ通牒シ志願者ヲ召募スルモノトス

第六十條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ帝國大學總長若クハ當該學校長ヲ經テ陸軍省醫務局長ニ差出シ醫務局長ハ本人ノ學力品行等ヲ審査シ且最寄部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ帝國大學總

長若クハ當該學校長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ依託學生若クハ依託生徒ヲ命スヘシ

前項ノ身體検査ハ醫務局長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ

第六十一條 依託學生ハ帝國大學、依託生徒ハ當該學校一般ノ規程ニ從ヒ修學セシム

第六十二條 依託學生及依託生徒修學中ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スル

ヲ許サズ其ノ成業ノ目途ヲキキ者及品行不正學業懈怠若クハ規則違犯等ノ故ヲ以テ帝

國大學總長若クハ當該學校長ニ於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者又ハ傷痕疾病ノ爲メ休

學六箇月以上ニ至リ仍ホ治愈ノ見込ナキ者アルトキハ陸軍省醫務局長ハ帝國大學總

長若クハ當該學校長ノ通知ヲ受ケ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スヘシ

陸軍省醫務局長ハ依託學生、依託生徒ニシテ正當ノ事由ナク學年試驗ヲ受ケサル者

若クハ學年試驗ニ落第シタル者又ハ其ノ品行見習醫官、見習藥劑官ト爲スニ適セス

第六十三條 依託學生及依託生徒ニハ授業其ノ他一切ノ費用ニ充ツル爲メ左ノ金額ヲ

支給ス

依託學生

月額金拾五圓

依託生徒

同 金拾圓

第六十四條 依託學生及依託生徒ノ身上其ノ他戶籍ニ異動ヲ生シタルトキハ本人若クハ保證人ヨリ之ヲ陸軍省醫務局長ニ届出スヘシ

第六十五條 依託學生及依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試験ヲ終リタルトキハ陸軍省醫務局長ハ帝國大學總長若クハ當該學校長ヨリ其ノ試験成績等ニ關スル通知ヲ受ケ之ニ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ命スヘシ

第三款 軍醫學校生徒

第六十六條 軍醫學校生徒召募ノ試験科目左ノ如シ但外國語學ハ本人ノ冀望ニ依リ英、佛、獨ノ内一種ヲ限リ試験ス

內科學 外科學

眼科學 耳科學 軍醫志願者

衛生學

製藥化學

衛生化學

生藥學

藥劑官志願者

外國語學(和文歐譯、歐文和譯)

第六十七條 學科試験ハ軍醫學校ニ於テ五月一日ヨリ之ヲ行フ

第六十八條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ニ醫術開業免狀寫若クハ藥劑師免狀寫ヲ添ヘ二月二十八日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第六十九條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ與書證印ヲ爲シ又身元明細書第三號ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ三月三十一日迄ニ師團軍醫部長ニ送附スヘシ

第七十條 陸軍部内ノ志願者ハ願書ニ第六十八條ノ免狀寫ヲ添テ部隊長ニ差出シ部隊長ハ其ノ身分財產等ヲ調査シ身元明細書第三號ヲ製シ兵籍寫及考科表寫考科表ナキモノハ之ニ準スヘト共ニ願書ニ添附シ三月三十一日迄ニ師團軍醫部長ニ送附スヘシ

第七十一條 師團軍醫部長ハ志願者ヲシテ居住地最寄ノ部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其ノ合格者ハ學科試験期日迄ニ出京セシメ願書其ノ他ノ書類ヲ取纏メ之ニ志願者人名書ヲ添ヘ軍醫學校長ニ送付スヘシ

陸軍召募規則

前項ノ身體検査ハ師團軍醫部長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ

第七十二條 軍醫學校長ハ試験問題及試験施行ノ方法ヲ定メ陸軍省醫務局長ノ認可ヲ請ケ又前條ノ書類ヲ審査シ學科試験ヲ行ヒ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ其ノ人名書ニ検査書類ヲ添ヘ陸軍省醫務局長ニ差出シ認可ヲ請ケ師團軍醫部長及部隊長、郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ入校ヲ命スヘシ

第四章 見習獸醫官獸醫部依託學生、同依託生徒

第一款 見習獸醫官

第七十三條 一年志願兵中獸醫生ニシテ見習獸醫官ヲ志願スルモノハ第八條ニ定ムル願書其他ノ書類ニ獸醫免狀寫ヲ添ヘ六月十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ之ヲ調査シ六月十五日迄ニ師團獸醫部長ニ送付スヘシ

第七十四條 師團獸醫部長ハ陸軍省軍務局長ヨリ受領スル試験問題ヲ隊附高級獸醫ニ送付シ検査ニ關スル必要ノ訓示ヲ與ヘ同官ヲシテ志願者ノ検査ヲ行ハシムヘシ  
第七十五條 隊附高級獸醫前條ノ検査ヲ終レハ其答解書ヲ祕封シ自己ノ意見ヲ付シ試

驗ニ關スル書類ト共ニ六月三十日迄ニ師團獸醫部長ニ差出スヘシ

第七十六條 師團獸醫部長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其成績ニ依リ列序ヲ定メタル人名書ヲ製シ之ニ試験書類ヲ添ヘ且ツ自己ノ意見ヲ付シ七月十五日迄ニ陸軍省軍務局長ニ差出スヘシ

第七十七條 陸軍省軍務局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ採用スヘキ者ト否トヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ師團獸醫部長ニ達シ獸醫部長ハ隊長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第七十八條 獸醫部依託學生、同依託生徒ノ要員ハ陸軍省軍務局長之ヲ帝國大學總長ニ通達シ志願者ヲ召募スルモノトス

第七十九條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其他ノ書類ヲ帝國大學總長ヲ經テ陸軍省軍務局長ニ差出シ軍務局長ハ本人ノ學力品行等ヲ審査シ且最寄部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ帝國大學總長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ依託學生若クハ依託生徒ヲ命スヘシ

前項ノ身體検査ハ軍務局長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ  
第八十條 依託學生及依託生徒ハ帝國大學ノ規定ニ從ヒ修學セシム

第八十一條 依託學生及依託生徒修學中ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スルヲ許サス其ノ成業ノ目途ナキ者及品行不正學業懈怠若クハ規則違犯等ノ故ヲ以テ帝國大學總長於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者又ハ傷痍疾病ノ爲メ休學六箇月以上ニ至リ仍ホ治療ノ見込ナキ者アルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ノ通知ヲ受ケ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スヘシ

陸軍省軍務局長ハ依託學生、依託生徒ニシテ正當ノ事由ナク學年試驗ヲ受ケサル者若クハ學年試驗ニ落第シタル者又ハ其ノ性行見習獸醫官ト爲スニ適セスト認メタル者アルトキハ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スルコトヲ得

第八十二條 依託學生及依託生徒ニハ授業其ノ他一切ノ費用ニ充ツル爲メ左ノ金額ヲ支給ス

依託學生、月額金拾五圓

依託生徒、同 金拾圓

第八十三條 依託學生及依託生徒ノ身上其ノ他戶籍ニ異動ヲ生シタルトキハ本人若クハ保證人ヨリ之ヲ陸軍省軍務局長ニ届出スヘシ

第八十四條 依託學生及依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試驗ヲ終リタルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ヨリ其ノ試驗成績ニ關スル通知ヲ受ケ之ニ見習獸醫官ヲ命ス

第五章 各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士候補生

第八十五條 下士候補生蹄鐵工長候補生トモハ陸軍部外ノ志願者ハ師團毎ニ步兵隊及

警備隊ニ在テハ左ノ區域内其ノ他ニ在テハ師管内ニ本籍ヲ有スル者ヨリ召集ス若シ步兵隊及警備隊ノ要員ヲ其ノ區域内ニ於テ充タスコト能ハサルトキハ師管内他ノ區域ヨリ召集スルコトヲ得

- |          |              |          |         |
|----------|--------------|----------|---------|
| 步兵第一聯隊   | 麻布聯隊區、橫濱聯隊區  | 步兵第十六聯隊  | 新發田 聯隊區 |
| 步兵第十五聯隊  | 高崎聯隊區、長野聯隊區  | 步兵第三十聯隊  | 柏崎 聯隊區  |
| 步兵第二聯隊   | 佐倉聯隊區、水戸聯隊區  | 步兵第六聯隊   | 名古屋 聯隊區 |
| 步兵第三聯隊   | 本郷聯隊區、宇都宮聯隊區 | 步兵第三十三聯隊 | 津 聯隊區   |
| 步兵第四聯隊   | 仙臺 聯隊區       | 步兵第十八聯隊  | 豐橋 聯隊區  |
| 步兵第二十九聯隊 | 福島 聯隊區       | 步兵第三十四聯隊 | 静岡 聯隊區  |

步兵第八聯隊	大阪聯隊區	步兵第二十七聯隊	釧路聯隊區
步兵第三十七聯隊	和歌山聯隊區	步兵第二十八聯隊	旭川聯隊區
步兵第九聯隊	大津聯隊區	步兵第五聯隊	盛岡聯隊區
步兵第三十八聯隊	京都聯隊區	步兵第三十一聯隊	弘前聯隊區
步兵第十一聯隊	廣島聯隊區	步兵第十七聯隊	秋田聯隊區
步兵第四十一聯隊	尾道聯隊區	步兵第三十二聯隊	山形聯隊區
步兵第二十一聯隊	濱田聯隊區	步兵第七聯隊	金澤聯隊區
步兵第四十二聯隊	山口聯隊區	步兵第三十五聯隊	富山聯隊區
步兵第十三聯隊	熊本聯隊區	步兵第十九聯隊	岐阜聯隊區
步兵第四十五聯隊	鹿兒島聯隊區	步兵第三十六聯隊	鯖江聯隊區
步兵第二十三聯隊	宮崎聯隊區	步兵第十聯隊	姫路聯隊區
步兵第四十六聯隊	大村聯隊區	步兵第四十聯隊	鳥取聯隊區
步兵第二十五聯隊	函館聯隊區	步兵第二十聯隊	福知山聯隊區
步兵第二十六聯隊	札幌聯隊區	步兵第三十九聯隊	神戸聯隊區

步兵第十二聯隊	九龜聯隊區	步兵第四十七聯隊	大分聯隊區
步兵第四十三聯隊	徳島聯隊區	步兵第二十四聯隊	福岡聯隊區
步兵第二十二聯隊	松山聯隊區	步兵第四十八聯隊	佐賀聯隊區
步兵第四十四聯隊	高知聯隊區	對馬警備隊	對馬警備隊區
步兵第十四聯隊	小倉聯隊區	沖繩警備隊區ニ本籍ヲ有スル者ニシテ歩兵科志願ノ者ハ第六師團ノ各歩兵隊ニ召集スルモノトス 第八十六條 近衛師團ノ下士候補生ハ陸軍部外ノ志願者ハ歩兵及騎兵科ニ在テハ各師管其ノ他ニ在テハ第一師管ニ本籍ヲ有スル者ヨリ召募ス 第八十七條 兵卒ヨリ下士候補生ヲ志願スル者ハ所屬隊ノ要員ニ充ツルモノトス 第八十八條 下士候補生中生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス 讀書 漢字交リ文 作文 日用書類、漢字交リ文	

地理 日本地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

算術 初歩

第八十九條 陸軍部外ノ志願者検査ハ聯隊區司令官之ヲ行フ

各隊兵卒ヨリ志願スル者ハ各隊長必要ニ依リ其ノ學力ヲ試験スルコトヲ得其ノ程度ハ前條ニ準ス

第九十條 師團長ハ各聯隊區及各隊ヨリ召募スヘキ下士候補生ノ人員近衛師團ヲ定メ各隊長及聯隊區司令官ニ達シ同時ニ陸軍部外ヨリ召募スヘキモノノ兵種人員近衛師團ノ要員共別シ及出願期日ヲ師管内ニ廣告スヘシ但各兵科下士候補生中學生ノ人員ハ陸軍部外ヨリ採用スヘキ者決定シタル後之ヲ定ムルモノトス

近衛師團長ハ各師管ヨリ召募スヘキ者ハ第八十六條ニ依リ之ヲ各師管ニ配當シ召募ノ前年十二月三十一日迄ニ其人員及入隊セシムヘキ隊號ヲ各師團長ニ移牒シ各隊ヨリ召募スヘキ人員ハ之ヲ各隊長ニ達スヘシ

第九十一條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ師團長ノ定ムル

出願期日迄ニ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ奥書證印シテ十五日以内ニ聯

隊區司令官町村長ハ郡長ヲ經テニ送付スヘシ但志願者ハ願書ニ冀望ノ兵種ヲ記載シ又同師管

内他ノ聯隊區ニ寄留スル者ニシテ寄留地聯隊區ニ於テ検査ヲ受ケントスルトキハ其旨モ記載スヘシ

第九十二條 前條ニ依リ他ノ聯隊區ニ於テ検査ヲ受ケンコトヲ望ム者アルトキハ聯隊區司令官之ヲ許可シ寄留地聯隊區司令官ニ其ノ許可シタル者ノ願書其ノ他ノ書類ヲ添ヘ之ヲ通知シ其ノ旨ヲ師團長ニ報告スヘシ

第九十三條 聯隊區司令官ハ第九十一條ノ書類ヲ調査シ其ノ志願者ノ人員ニ應シ検査場ノ位置及検査期日ヲ定メ志願者ノ人員ト共ニ師團長ニ報告シ同時ニ検査場ノ位置

第九十四條 各隊長ハ第九十條ノ達ニ依リ部下初年兵若クハ二年兵中志願ノ者ヲ取調ヘ其ノ願書ヲ徵シ適當ト認ムル者ヲ決定シ其人員ヲ所管師團長ニ報告スヘシ但適當者決定時期ハ各兵科下士候補生ニ在テハ別ニ定ムル所ニ依リ蹄鐵工長候補生ニ在テハ獸醫學校ヘ分遣前トス

第九十五條 師團長ハ學科試験問題及試験ノ方法ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達スヘシ

陸軍召募規則

第九十六條 師團長ハ陸軍部外ノ志願者身體検査ノ爲メ軍醫ニ検査醫官ヲ命シ之ヲ聯隊區司令部ニ派遣シ該司令官ノ指示ヲ受ケシムヘシ但徵兵検査醫官及副醫官ヲシテ之ヲ兼テシムルコト得

第九十七條 聯隊區司令官試験終レハ其ノ答解ニ評點ヲ附シ試験成績表ヲ作シ之ニ志願者ヨリ差出シタル書類及志願者連名簿第七號書式ニ準スヲ添ヘ答解書類ト共ニ所管師團長ニ進達スヘシ

第九十八條 師團長ハ前條ノ書類ヲ審査シ試験ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ十月十五日迄ニ聯隊區司令官、郡市長及町村長ヲ經テ本人ニ達シ其ノ採用スヘキ者ニハ下士候補生及入隊ヲ命スヘシ但衛生部下士候補生ハ師團司令部所在地ニ在テハ某歩兵一聯隊ニ入隊セシム

師團長ハ近衛師團志願ノ合格者中各種類毎ニ採用スヘキ者ノ人名書ニ本人ノ願書戶籍ノ謄本及履歷書ヲ添ヘ十月十五日迄ニ近衛師團長ニ通報スヘシ

第九十九條 近衛師團志願ノ合格者要員ニ對シ過剩アリテ本籍所管師團志願ノ合格者寡少ナルトキ又之ニ反スル場合ニ在テハ本人ノ志願ニ依リ本籍所管師團又ハ近衛師

團ノ要員ニ充ツルコトヲ得

第一百條 入隊ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

第一百一條 各師團長ハ下士候補生召募ノ手續終レハ其生徒及學生毎ニ速ニ召募結果表

第九號書式ヲ作リ陸軍大臣及教育總監ニ報告スヘシ

第一百二條 各兵科下士候補生申傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺員ヲ生シタルトキハ教育及補充上ノ都合ニ依リ服役ニ簡年以内ノ兵卒ニシテ下士候補生志願ノ者ヲ以テ臨時其ノ缺員ヲ補充スルコトヲ得其ノ取扱ハ第九十四條ニ準ス

第六章 砲兵工長候補生

第一百三條 砲兵工長候補生召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文

圖畫 用器畫、自在畫

歴史 日本歴史ノ大要

陸軍召募規則

算術 初歩

第四百四條 現役初年兵ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書ヲ六月三十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ其ノ人員ヲ七月三十一日迄ニ砲兵工科學校長ニ通知スヘシ

第四百五條 陸軍部外ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ六月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與書證印シテ七月十五日迄ニ聯隊區司令官町村長ハ郡長ヲ經テニ送付スヘシ

第四百六條 聯隊區司令官ハ前條ノ書類ヲ調査シ志願者ノ人員ヲ七月三十一日迄ニ砲兵工科學校長ニ通知スヘシ

第四百七條 砲兵工科學校長ハ學科試驗問題、試驗期日及試驗施行ノ方法ヲ定メ祕封シテ八月三十一日迄ニ隊長及聯隊區司令官ニ送付シ同時ニ陸軍部外ノ志願者身體檢査ノ爲メ聯隊區司令官ヘ軍醫ノ派遣ヲ師團長ニ請求シ師團長ハ軍醫ヲ派遣シ聯隊區司令官ノ指示ヲ受ケシムヘシ

第四百八條 兵卒ノ學科試驗ハ所屬隊ニ於テ該隊長、陸軍部外志願者ノ檢査ハ聯隊區司令官所在地ニ於テ該司令官之ヲ行フ

第四百九條 各隊長及聯隊區司令官試驗終レハ其ノ答解書ヲ祕封シ之ニ志願者ヨリ差出シタル書類及志願者連名簿第七號書式ニ準スヲ添ヘ九月三十日迄ニ砲兵工科學校長ニ送付スヘシ但隊長ハ採否ノ參考トナルヘキ事項賞罰又ハ特有ノ技能ヲ各自ノ答解書ニ附記スヘシ

第四百十條 砲兵工科學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ隊長若クハ聯隊區司令官、郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ砲兵工長候補生及入校ヲ命スヘシ

第四百十一條 陸軍部外ノ志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

第七章 縫工長候補生、靴工長候補生

第四百十二條 縫、靴工長候補生召募ノ試験格左ノ如シ但シ試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文

歴史 日本歴史ノ大要



算術

初歩

第百十三條 現役縫工、靴工ノ初年兵ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書ヲ六月入校セントスル者ハ三月二十日十二月入校セントスル者ハ九月二十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ其ノ人員ヲ同月三十日迄ニ經理學校長ニ通知スヘシ

第百十四條 陸軍部外ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ二月二十八日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ奥書證印シテ三月二十日迄ニ聯隊區司令官町村長ハ郡ニ送付スヘシ長ヲ經テ

第百十五條 聯隊區司令官ハ前條ノ書類ヲ調査シ志願者ノ人員ヲ三月三十一日迄ニ經理學校長ニ通知スヘシ

第百十六條 經理學校長ハ學科試驗問題試驗期日及試驗施行ノ方法ヲ定メ祕封シテ六月入校者ニ付テハ四月十日十二月入校者ニ付テハ十月十日迄ニ隊長及聯隊區司令官ニ送付シ同時ニ陸軍部外ノ志願者身體検査ノ爲メ聯隊區司令部へ軍醫ノ派遣ヲ師團長ニ請求シ師團長ハ軍醫ヲ派遣シ聯隊區司令官ノ指示ヲ受ケシムヘシ

第百十七條 兵卒ノ學科試驗ハ所屬隊ニ於テ該隊長陸軍部外志願者ノ検査ハ聯隊區内

便宜ノ地ニ於テ該司令官之ヲ行フ

第百十八條 各隊長及聯隊區司令官試驗終レハ其答解書ヲ祕封シ之ニ志願者ヨリ差出シタル書類及志願者連名簿第七號書式ニ準スヲ添ヘ六月入校者ニ付テハ五月五日十二月入校者ニ付テハ十一月五日迄ニ經理學校長ニ送付スヘシ但隊長ハ採否ノ参考トナルヘキ事項賞罰又ハ特ヲ各自ノ答解書ニ附記スヘシ

第百十九條 經理學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ隊長若クハ聯隊區司令官、那市長及町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其採用スヘキ者ニハ縫、靴工長候補生及入校ヲ命スヘシ

第百二十條 陸軍部外ノ志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管ノ師團監督部ヨリ支給ス

第八章 軍樂學校生徒

第百二十一條 軍樂學校生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

陸軍召募規則

作文 通俗文

算術 初歩

前項ノ外洋琴等ヲ指彈シテ二三音符ノ呂律ヲ判別セシメテ聽官ヲ檢シ又若干ノ口述  
試驗ヲ行フ

第二百二十二條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ三月二十日迄ニ居住地ノ  
市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與書證印シテ三月三十一日迄ニ聯隊區司令  
官町村長ハ郡ニ送付スヘシ  
長ヲ經テ

第二百二十三條 聯隊區司令官ハ前條ノ書類ヲ調査シ徵兵檢査ノ際志願者ヲ便宜ノ場所  
ニ呼出シ軍醫ヲシテ身體檢査ヲ行ハシメ合格者連名簿ヲ製シ願書其ノ他ノ書類ト共  
ニ檢査結了後直ニ戸山學校長ニ送付スヘシ

前項ノ軍醫ハ聯隊區司令官ノ上申ニ依リ師團長之ヲ命スルモノトス但徵兵醫官及副  
醫官ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ得

第二百二十四條 軍樂學校生徒ハ特ニ齒列正シクシテ齶齒ナキ者ニアラサレハ採用セザ  
ルモノトス

第二百五條 戸山學校長ハ第二十三條ノ書類ヲ調査シ各師管毎ニ一ノ試驗場ヲ設  
ケ試驗期日及試驗場ノ位置其ノ他必要ノ事項ヲ市町村長ヲ經テ志願者ニ通達スヘシ  
但第一師管ニ在テハ二試驗場ヲ設ケ又志願者ノ人員僅少ナル師管ニ在テハ試驗場ヲ  
設ケス最寄師管ノ試驗場ニ於テ試驗ヲ行フコトヲ得

第二百二十六條 戸山學校長ハ試驗區域ヲ定メ一試驗區域毎ニ樂長若クハ樂長補一名ヲ  
試驗官ト爲シ之ニ樂手一名宛ヲ附屬シ試驗ヲ行ハシムヘシ  
前項ノ試驗官及屬員ハ軍樂學校及軍樂隊ヨリ選定スルモノトス但軍樂隊ヨリ選定ス  
ルトキハ戸山學校長ノ上申ニ依リ教育總監之ヲ當該師團長ニ達スヘシ

第二百二十七條 各試驗官ハ試驗成績ヲ調査シ試驗成績表ヲ製シテ十月十五日迄ニ戸山  
學校長ニ差出スヘシ  
戸山學校長ハ前項ノ書類ヲ軍樂學校長ニ下附シ其意見ヲ徵シ更ニ審査ノ上採用スヘ  
キ者ト否トヲ定メ市町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ入校ヲ命  
スヘシ

第二百二十八條 入校ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

附則

第二百二十九條 當分ノ内第七師團ノ各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生及衛生部下士候補生ハ第一、第二及第八師管ヨリ第七師團下士候補生志願ノ者ヲ召募スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ近衛師團ノ下士候補生ヲ各師管ヨリ召募スルノ例ニ準據スヘシ

當分ノ内第一、第二及第八師管在籍者ニシテ第七師管ニ寄留シ第七師團ノ各兵科下士候補生蹄鐵工長候補生及衛生部下士候補生タラント欲スル者ハ其寄留地ニ於テ召募ニ應スルコトヲ得其取扱ハ第七師管在籍ノ者ニ同シ

第二百三十條 本則ハ明治三十二年十二月一日ヨリ施行ス但士官候補生、地方幼年學校生徒、各兵科下士候補生及軍樂學校生徒召募準備ニ關スル事項ハ發布ノ日ヨリ施行ス士官候補生、地方幼年學校生徒及軍樂學校生徒願書ニ添附スヘキ戸籍ノ謄本ハ戸籍明細書ヲ以テスルコトヲ得又本年當省告示第十四號ニ依リ出願ノ軍樂學校生徒ノ入校期ハ同告示ニ依ル

第二百三十一條 明治三十二年ニ於テ陸軍部外ノ各兵科下士候補生志願者ハ入隊期日ヲ除クノ外師團長適宜其ノ方法ヲ定メ之ヲ召募スルコトヲ得但近衛師團ニ在テハ第一

師管、第七師團ニ在テハ第七師管内ニ限ル

附則

明治三十三年陸軍省告示第十一號ニ依リ縫、靴工長候補生志願者ニ係ル召募ノ手續ハ從前ノ規定ニ依ル

第一號書式ノ一 (用紙美濃白紙)

士官候補生願

某 儀

士官候補生志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戸籍ノ謄本、履歷書、保證書(入隊承認書)相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戶主ニアラサレバ誰子弟

氏 名 印

府(縣)郡(市)町(村)番地住  
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

何年 月 日 生  
何年 十二月 當何年 何月

身元保證人  
府縣族籍職業

陸軍召募規則

年月日

何師團長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

受驗外國語

受驗場

英(獨)(佛)語

何地(居住地所管師)

冀望兵種隊號

第一何兵何隊(入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得)

前書之趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市長 氏

名 印

陸軍部内ノ志願者ニ在テハ本書式ニ準シ調製スヘシ

二十歳未満ノ志願者ニ在テハ身元保證人ノ中一人ハ其ノ志願者ニ對シ親權ヲ行フ者タルヲ要ス以下第一號書式皆同シ

第一號書式ノ二(用紙美濃白紙)

陸軍地方幼年學校生徒願

地方幼年學校生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ卒業ノ

某儀

上中央幼年學校生徒被命候節ハ誓テ陸軍ニ從事可仕ハ勿論入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納候仍テ戶籍ノ謄本履歷書相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戶主ニアラサ

氏 名 印

府(縣)郡(市)町(村)番地住

何年 月 日 生

身元保證人

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

氏 名 印

年月日

同

氏 名 印

何地方幼年學校長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

入校冀望ハ御校ノ外第一何地方幼年學校第二何地方幼年學校第三何地方幼年

學校ニ有之候

何地(居住地所管師)

受驗場

佛(獨)(露)語

陸軍召募規則